



明治四年正月官許

松本愚山解話
鶴飼良輔校訂

寶文堂

校訂 譯文須知

京都書林
六書房合梓

金三拾七錢五厘

利
57

印
物
卷

東
學

愚山松本先生所著者虛字

澤文須去法氣既已刻之而

公事如矣也字則未也也

字多字辭下冊子書者深培

之請余訂之予去者亦不林不

明治六年八月六日



畧加考訂以授焉亦所以答
先生之大教也

安政庚申三月

鴉飼汝伴識



譯文須知實字部目錄

卷一

自伊至保

卷二

自邊至力

卷三

自ヨ至夕

卷四

自ヤ至又

譯文須知卷之一

實字

愚山松本先生解詁

門人近江 鶉飼良輔校訂

イ類

○イへ

家 オノく別ニ一構ヲ設ケルヲナリ左傳男有室女有家
 是ナリ故ニ嫁ノ字女ニ从ヒ家ニ从フ夫婦別ニ一構
 ヲ設ルナリ本
 屋 人ノ住居スル所ヲサシテ云六韜愛其人而及屋上之
 鳥是ナリ
 宅 人ノ落ツタ所ニスル心持ナリ孟子仁者人之安宅也
 是ナリスヘテ毛ニ从フ字皆安シタル義ナリ茶托ナ

トヲ以テ知ヘシ

舍 引コミテ休息スルヲ工へ部屋ノ一ニ用ユ釋名舍於中舍息也是ナリ

厦 大ナル建物ヲ云外ノイヘト云字ハ格別ナリ史記大厦之壞非一本之所支是ナリ

居 人ノ住ナレテ居ル所ナリ孟子居移氣養移體云云况居天下之廣居者乎云々此無他居相似也是ナリ

室 居間ノ一ナリ易經後世聖人易之以宮一軒ノツ、ク一ナリ正字通民家聯比謂之編一

房 カタハキニアル部屋ナリ詩經右招我由一

庵 ○イホリ 上ヲウチオソヒテ外ヲ防ク心持ナリ通典結艸木為

廬皆曰庵是ナリ

廬 シハラクノ間ノ宿ニスル一ナリ文選周廬千列註直宿曰廬是ナリ謙遜ノ詞ナリ弊一云ヲ以テシルヘシ

市 ○イチ 商賈ノタカヒニ貨物ヲ交易スル場所ナリ世說臣門如市臣心如氷是ナリ

堵 人多ク集テ垣ノ如キヲ云禮記孔子觀射于矍相之圃觀者如堵墻タトヘハ此方ノ詞ニ歌垣ナト、云カ如

トク人ノヨリ集リタヲ垣ニタトエタル一ニテ元來市ノ一ニハ非ス心得タカフヘカラス

肆 ○イチクラ ナラヘ立テ人ニホシイマ、ニ見セル一ナリ論語百

五居肆以成其事是ナリ

塵 商人ノ住居スル所ヲ云禮記市塵而不稅註塵市物邸

舎ト是ナリ故ニ住居スル所ノ租錢ヲ取モ塵ト云

○イケ

池 地形ノ卑下ニノ自然ト水ノ流レコムヲ云詩經東門

之池可以漚麻是ナリ硯ノ海ヲ硯池ト云コフハイア

リテタホキ所ヲイフ

陂 マワリニ土手ヲツキワサト水ヲ畜ルナリ禮記注畜

水曰陂是ナリ其廻リノツ、ミモ亦陂ト云ナリ

沼 入リクミテ流レコムヲ云ナリ詩經于沼于沚是ナリ

瀕ハ水ノ漂フ處ニアル故ニ沼ニ沚ニトハ云ヘルナリ

湫 水ハキノアシクテ水ノタマリタルナリ韻府安定朝

那有湫泉清徹不容汙濁是ナリ

渚 水ノ又マナリ流レサルヲ云字典江左人目水之渚瀦

不湍者為渚是ナリ後世詩人多ク湖ノ字ニ換用

瀦 カ子テ用意ニ水ヲタメル心持ナリ周禮稻人以瀦畜

水是ナリ家猪ハ貯オクモノ故ニ水ニ从ヒ猪ニ从フナリ

○イシスエ

礎 地形ノユカミナキ様ニ石ヲスヘルヲ云正字通柱下

石一與礎異名同實其為楹石則一無二義

礫 上ヘアラハレ出タル所ヲ指テ云ナリ正字通俗呼礫

曰礫是ナリ

礪 下シキニ用ユルヲ云文選雕楹玉礪繡栢雲楣是ナ

リスヘテカサリテ礎ノ上ニテ柱ニカヒタルヲ云ナリ

質 石ヲ以テモノ、上臺ニスルヲ云國策孰與自伏斧質
妻子為戮乎コレナリ石スユニハ非ス斧ニテ物ヲキ
ル臺ナリ

○イサコ

砂 石ノ細ニ碎テサラクトスルヲ云阿房宮賦用之如泥
沙是ナリ

磧 淺キ川ノ水底ニ砂石アルナリ文選下磧歷之坻又古
ニハ瀨ノ字ヲ用ヒスシテ磧ノ字ヲ用ヒシナリ

漠 果モナク取放シタル砂原ナリ韻府立威沙漠是ナリ
○イシ

石 土中ニアル精氣ノ凝結シテ質ヲナスヲ云易經介于
石不終日是ナリ天ニテ星地ニテ石人ニテ骨イツレ

モ精氣ナリ

礫 キラツク心持ノ少キ石ナリ文選爛若礫注石細者

曰一

碌 コロクト轉ヲサシテ云老子不欲碌々如玉是ナリ畢
竟小石ノ一ユヘニコロクト用ニ立サルモノヲ碌々

ト云

磽 石地ニテヤセタルヲ云孟子地有肥磽雨露之養不同
是ナリ又磽塉トモ用ユ同義ナリ

砲 石ヲ抛テ飛セルナリ抛ト音通ス正字礮ニ作ル

○イハ

巖 角夕チテ取付難キ心持ナリ左傳制一邑也號叔死焉
是ナリ巖邑ハ險岨ナル場所ノ要害ヲ云ナリ

磐 ヒラ 平タクシテ地場ニナルヲ云易經鴻漸于一是ナリ盤

ト通ス荀子國安於一石ヨリモスハリノヨキヲ云

○イタ、キ

巔 山ノ見コミノ高キ所ヲ云詩經采芴采芴首陽之一是

ナリ

萃 急ニ高シテ危イホトノ處ナリ詩經山冢萃崩是ナリ

山ノトンホウサキ或ハ急ニ高ヒ處ヨリ崩レカ、ル

ヲ云

椒 石ノスクナク土多キヲ云文選菊散芳于山椒山菊ノ

自然ト生スル一ハ必石少ク土多キ處ナリ

岨 石山ニメイタ、キニ土アルヲ云詩經陟彼一矣是ナ

リ

岵 艸木ノハヘタルイタ、キナリ全上陟彼一兮

冢 山ノトンボフサキノ一詩經見上

岵 ハゲ山ノイタバキナリ爾雅山無艸木曰岵

巘 外ヨリアラハレタルヲ云文選坂坻巘辭而成一是也

○イシハシ

梁 石ニテ水ヲタチ切リタル一詩經在彼淇梁是ナリ梁

ハモト水橋ト注シ舟橋ノ一ナルヲ轉用セルト見ユ

砭 石ヲヨセ合セテ川ヲ飛コシテ往來ヲ通スルナリ歐

詩六月飛雪洒石一是ナリ又碣阮雅石一謂之碣

○イハホ

窟 地ヨリクボミテ深キ所ヲ云孟子下者為管一左傳為

一室而夜飲酒擊鐘焉ト是ナリ

○イシダタミ

瓮 シキ瓦ノ如ク真口クニ並ルナリ **易經** 井一 无咎是ナ
リ井戸ノヨイ瓦ニテ修レハサシ水ノウレヘナシト
云心ナリ

○イケス

籛 魚ヲタクハエオク様ニスル **廣韻** 一ハ池水中編竹
籛養魚ソノ字ノ禦ニ以フハ魚ノ外工出ザル様ニス
レバナリ

○イツミ

泉 一條トナリニハカニ出ル水ヲ云 **尔雅** 水源曰一 **易經**
井冽寒一食是ナリ飛一湧一ナド皆一條ツ、ノ水ナ
リ

○イセキ

堰 物ヲ以テ水ヲセキトメルナリ **字典** 一壅水也

埭 舟ヲ引トバムル所ナリ **晋書** 謝玄堰 呂梁 一通漕

○イソ

磯 水中ニ石ヲオキテ人ノ立様ニスル **字典** 石激水也

○イニシヘ

古 歲月ノ夕チタルナリ **書經** 曰若誓一帝堯古ハ今ニ對
シ往ハ來ルニ對ス故ニ昨日往日ト云ヘ 斥古トハ云
難ヲ以テ例推スベシ

往 ○アリテスキタルヲ云 **易經** 夫易彰往而知來

故 ○下地トナリユク **同上** 革去故也

○イマ

今 目前ノ所ヲサシテ云論語一也純儉是ナリ現在ヲサシテ云詞ナルヲ知ルヘシ

○イカツチ

雷 カミナリノ音聲ヲサシテ云詩經殷其其一在南山之陽是ナリ遠方ヨリツノ鳴ル方角ヲサスナリ

霆 カミナリノ落カ、ルナリ淮南子疾雷不及掩耳疾一不及掩目落カ、ルヲ見ルユヘニ掩目ト云聲ヲ聞テ耳ヲ掩ト別ナリ

霆 ○ト其義未考

震 落ルホドノツヨキ雷ナリ左傳疏雷之甚者為震是ナリ

○イナビカリ

電 ○天地間ノ真火ノ氣ノモレテ見ルナリ禮記仲春雷乃發聲乃電是ナリ雷鳴ニヨリテ火氣モモレテ見ルナリ

霹 雷勢ノ甚急ニ人ノ怖ルホトノナリ尔雅疾雷為霹

霆 霆注雷之急擊者謂霹霆是ナリ

霆 義上ニ同シ

○イロコ

鱗 魚ノ皮ノキラクト見ルモノヲ云禮記其蟲一是ナリ

介 ○トヨノ部ニ見ユ

甲 上ニ同シ

○イモト

妹 兄姉ヨリ次ナルモノナリ詩經衛莊公聚于齊東宮得

臣之曰莊姜是ナリハ女ニノ娣小婦ナリ

娣 本妻ニツキ從フ妹分ノモノヲ云易經帝乙歸妹不如
其娣之袂良是ナリツキ添ノ袂却テヨシト云心ナリ

○イトマ

間 手スキノアル心持ナリ大學小人一居為不善論語病

一是ナリシハラクニテモヒマナル時ナリ

暇 マルテ隙ノアル詩經迨我一矣飲此滑矣是ナリ格

別ノヒマナル時ナリ一ヲ給ルナトヲ以テシルヘシ

燕 サシアタリテ用ナキヲ云論語子之一居申申如也燕

ノ字宴ト通用ス燕ノ鳥人家ニ巢ヲシテ安居スル儀

ヲ假レリ

○イキ

氣 精神ヨリ流注シテ出ルモノヲ云論語屏氣似不息者

是ナリ上ノ氣ハ内ヨリ出ル自然ナルモノヲ云下ノ

息ハ呼吸ヲツカハヌ様ニスルヲ云ワサト息ツカイ

ヲスルナリ

息 呼吸ノ通フヲ云ナリ見上

○イトケナシ

幼 二十歳マテノ通称ニテ成長ノ間ヲサスナリ禮記人

生二十日ト學是ナリ

稚 マタ未熟ナル心持ナリ谷梁驪姬有二子長曰奚齊

曰悼子是ナリ年ノユカサル方ト云一ナリ

孺 父母ナトヲシトフ子供ヲ云孟子乍見一子之將入井

是ナリ需ハモノヲマチモトムル一ナリ子ニ从ヒ需

ニ从フ子ノ父母ヲシタイモトムルナリ

嬰 手ニカ、ル子供ヲ云老子專氣致柔能如嬰兒乎

孩 人ヲ見テ笑フ子供ヲ云孟子孩提之童

冲 何ノ心ツキモナキヲ云書經吾幼一人

○イハリ

尿 人ノ下部ヨリ出ル水ナリ説文一人小便也是ナリ尸

ニ从フ尸ハ人ナリ水ニ从フ此小便ノ本字ナリ

溺 上ヨリシタ、リカケルヲ云史記賓客飲者醉便溺睢

是ナリ小便ヲシカケルナリ

私 穢ハシキヲ忌タル隱語ナリ俗ニ手洗ト云カ如シ左

傳師慧過宋朝將一焉是ナリ自後漢書遺矢一便

洩 小便ヲスル音ヲ云後漢書遺矢一便

便 クノ部ニ見ユ

○イタタキ

顛 トマトカナル形ヲサシテ云莊子園一方趾觸體ト云頭

顛ノ轉音ニテカシラノ骨ヲ云暴骨ノミニ非ス

頂 スツトノサキナリ易經過涉滅一

○イサライ

腎 自體ノ下ニスハリテ居ツク所ヲ云ナリ易經一困于

株木カフキニヨリテスワル所ノ自由ナラサルナリ

○イホ

疣 肌肉ノ小サノカタマリ結ルヲ云莊子附贅懸一出乎

形哉而移於性コレコフハ身ニヒツ付イホハ宙ニフ

ラクシタルヲ云

炮

俗ニ云ニキヒナリ正字通凡手足臂肘暴起如水泡者謂之一是ナリスヘテ上ヘフクレタルモノ八字包ニ从フ

○イクサ

師

スヘテ大勢ノ人衆ノ一ナリ曰テ軍勢ノコト、ス詩經王言出一人衆ヲクリ出ス一ナリ

軍

ソナヘラ立テ軍ノ出立スルヲ云論語一旅之事未之學也一是ナリコレ人數ノ一ニハ非スソナヘラ立ル一ヲ云

○イカタ

型

ト土ノ井カタナリ字典凡鑄或以土曰一アヲ形ヲウツスヲ云廣韻土一未燒埴坯也

範

竹ノカタナリ易經一圍天地之化而不過

摸

細カニ形ヲウツスナリ文選陳三皇之規一鑄形ヘナカシコムナリ史記姦或盜摩錢裏取一前集ニ見ユ

○イカタ

筏

水上ニ見レタルヲ云爾雅疏桴楫編木為之一大曰一小曰桴

桴

水上ニ浮タル木ナリ論語乘一浮于海乎ノ字モト物ノ虚心ナル義ナリ虚ナルモノヨク水ニ浮フヲ云

方

トモカウモ水マカセニスルヲ云詩經就其深矣一之舟之トアルイカタモ舟モソノ流ニ从フテ逆フ一不能喻也

搓 輕目ナルモノ、心持ナリ唐詩不羨乘ラ雲漢邊又ウ
キ、凡訓セリコレ輕目ナルモノヨク水ニ浮ヘハナ
リ查ノ字同

○イシフミ

碑 モノヲヒツカケテ下ヘサケルモノヲ云儀禮當一揖
コレモトハ牲ヲカケルモノニテ墓所ニモ指ヲオロ
スタメニ設タルナリ

碣 シルシニ石ヲ立ルナリ文選竦峭雙一

○イトスシ

線 一スチツ、立ヲ云漢書不絶如綫註今一縷字是ナリ
ワツカ一スチ夕チタル糸ノ如シト云タトヘナリ
縷 子リくとヨレタルヲ云孟子麻一絲繁左傳葦路藍一

ハツ、リヨリタルナリ俗ニ云チ、ミノカ、リタル
ナリ

綸 スチミチノ立テユクナリ易經君子以經一是ナリ經
ハタテノ糸ナリスチミチノ立タルヲ夕テノ糸ナリ
綬 合セタル糸スジナリ詩經貝冑朱一ハ組糸ナリ
綫 上ニ見ユ線ト同字ナリ

約 カ、ムホトニヨリノカ、リタルヲ云儀禮有一總純
トアルハ履ノムコフノ打合タル所ヲヨリ合セテヒ
ラカサル様ニシタルヲ云

條 細キクミイトナリ禮記疏組紉但為一是ナリモト細
長キ義ヨリ攸ニ以ヒ又網カケヲ以テ上包トスル故
ニ韜ト通用ス

○イトクチ

緒

手カ、リノ見ヘタル心持ナリ 説文 一、絲端也コレ端

ハモノ、キツサキノアラハル、一ユエニカクハ注
セシトナリ

○イロ

色

ウハ向ニアラハレタル所ヲサシテ云 論語 一、難又

取仁、而行違ナト是ナリスヘテ目ニフレルモノ、通
稱ナリ

采

モヤウトリノアルヲ云ナリ 孟子 為一色之不足視於

目與

○イシウス

碓

打合セテモノヲ碎クナリ 正字通 碎物之器ト是ナリ

水ニテモノヲ打碎クヲ推ト云ヒ石ニテ物ヲ打碎ク
ヲト云

磨

上ト下トヲスリ合スナリ 同上 晋王戎 有水礧今俗謂

之

礧

スリヘラス心持ナリ 例用 見上

○イカリ

錠

シツカリト取リシツメタル心持ナリ 唐書 蕃船有下

錠、稅是ナリ定ハ奠ト通ス定ニ从フハ下ニスワル義

ニトレリ

猫

ヒツカケテモタセル心持ナリ 猫 鼠ヲ捕フレハ手

ノ爪ヲ立テシツカリトハナサヌ者ナレハイカリノ

爪ニテ舟ヲ動かササルユヘ鉄一児ト云ヘルヲ後世

畧ノ猫ノ一字ヲカクフニナリタルナリ

○イイ

饗 本膳ノナリ **孟子** 一殮而治 **注** 朝曰一タ曰殮

食 スヘテ食物ノタクヒヲカ子テ云 **論語** 有酒一先生饌

トアルモ飲モノニ對メ云フナリ **禮記** ノ点ニ一ヲイ

イト訓セシハアヤマリナリ

饊 俗ニ云ケンスイニテイリモノタンコナトヲ云 **廣韻**

一ハ飯也

飧 湯ツケメシナリ **例用見上**

饋 コハメシノナリ **說文** 一蒸米也 餹飯氣流也ト是サ

ツト蒸強イ、ナリモト奔ルヨリ責ニムフ

○イリモノ

臠 カロクタクタルヲ云ナリ **楚詞** 露雞一蠓 **注** 菜アルヲ

羹トシ菜ナキヲトスルト云ハ誤ナリタ、カロク

タクキタルヲ云ナリ

煎 煮ツメタルヲ云 **方言** 凡有汁而乾謂之 一古ノ藥法ノ

書ニ始藥種ヲ入テニルヲ煮ト云後ニ滓ヲ去テニツ

メルヲト云

熬 イリコカシニシタルヲ云ナリ **禮記** 煎醢加于陸稻上

沃之以膏曰淳 一後世イリモノスルナヘヲ一鍋ト云

ニテシルヘシ

○イケニヘ

犧 毛色ノマシリナキヲ云 **禮記** 天子以牛

特 何ニテモ一種用ユルヲ同上 **郊** 一牲

牲 神供ニソナヘル料ナリ左傳牛トノ得吉曰

芻 牛羊ヲ料理スルヲ云正字通牛羊曰大豕曰豢

牲 惣體ニ申分ナキヲ云左傳牲一肥脂

豢 犬豕ヲ料理スルヲ云例用上ニ見ユ

牢 本式ノ料理ヲ云周禮法三牲牛羊豕具為一

○イタ

板 へツタリトウスキ木ヲ云詩經在彼一屋板同シ

○イクルミ

弋 匕ホヲ矢ニツケテ井ル一也詩經言加之コノ字モ

ト象形ニテ弋ハ矢ニ糸ヲツケタル一ニテ一點ヲ加

ルハ子ロフ物ヲサス

繳 向ヲ子ロフ心持ナリ史記精一蘭臺糸ニハヒ敷ニ

ハフ邀ハムカヒモトムル義ナリ後世轉用シテ結フ

義ニモ用ユ

繒 矢ノ短ニテ補射ルヲ云同上飛者可以為

○イシ

塉 石ノ行アタルホトアルナリ史記燕地磽一コレ地ニ

大石多クアルヲ云ナリ不平ト解一瘠薄ト解スルハ

非ナリ

○イヌ

狗 カヒイヌナリ爾雅未成毫

犬 スヘテイヌノ通稱ナリ禮記效一者左牽之

𤝵 ムクイヌナリ詩經母使一也吠

𤝵 也高ク大ナルイヌナリ書經西旅貢一左傳公啖夫𤝵

釋文類聚

十四

馬

狗 病犬ナリ **左傳** 犬入華臣氏之門

○井

豚 小キフタナリ **禮記** 宗廟之禮 曰膾肥

猪 家ニタクハヘオクナリ **爾雅** 豕子

豕 スヘテフタノ通稱ナリ **詩經** 有白蹄豕涉波矣

豨 豕穢シキヲ云ナリ **正字通** 豕也

豨 子ヲ求ムルブタナリ **集韻** 求子猪也

口類

ハ類

○ハシ

橋 コウバイアルハシニテ中ノ凸ニナリタルヲ云 **杜詩**

朝進東門營暮上河陽コレナリ天津橋萬里橋ナトス

ヘテ名タカキ橋ナリ

階 上リ下リヲスルモノヲ云 **論語** 没一趨進翼如也

梁 兩方ヘ渡スヲサシテ云 **詩經** 造舟為梁

阼 主人ノ往來スル階ナリ **論語** 外降由一階堂ノ前面ニ

兩階アリテ東階ヲ一階ト云踐祚モトハ一ノ字ナリ

後世祚ノ字ヲ用

圮 土橋ノ一ナリ **史記** 遊下邳一橋遇一老父授以書コレ

土橋ノカリハシニテ欄干ナトモナキ故ニ履ヲオト

セシナリ

○ハシラ

柱 真ハシラニテ荷ヲモツヲ云 **阿房賦** 使負棟之一多于南

詩文須知卷一

十三

畝之農夫荷ヲモツユエニ柱石ト云重キコノ喻ニ用

楹

大黒柱ニテ丸木ナルヲ云左傳丹楹一刺楛コレ見ツケ
ノ柱ナリ禮記ノ兩楹トアルモ堂ノ中央ニ當テ左右
ニ立ル大ナル柱ナリ

刹

佛塔ノ中ニ立ル柱ヲ云文選列一相望注列一佛塔也
モト柱ヨリ轉ノ寺ノコヲ云ナリ金一香一是ナリ

櫺

壁ノ中ノ柱ナリ韓文一櫺侏儒櫺ト同義也

椀

俗ニイフツカ柱ナリ論語山節藻一注梁上短柱

○ハラ

原 向フ一面ニ高下ナキヲ云書經如火之燎于原トアル
ハ是ナリ高平ヲ原ト云ハ隰ノ下隰ニ對ノ云詞ニテ

郊原ノ義ニ非ス

○ハタテ

圃 野菜藥種ナトヲウユル所ナリ詩經九月築場一コレ
今マテハタタニ用ヒレ所ヲ秋收ノ用ニ立ンカ故ニ
ソノ地ヲ築固メルヲ云

○ハカ

墓 平地ニメ高カラヌヲ云禮記古者一而不墳スヘテ莫
ニ从フ字ハヘツタリトシタル義ナリ幕漠ナトノ例
推スヘシ

○ハレ

晴 ソラノクモリナキ一史記天一而見景星雨ニ對メ云
一ニテ陰ニ對スル義ニ非スサレ近體ノ詩ハ平仄

畢文須知卷一

十六

霽

二拘ルユ正陰ニ對メ用ユルヲモアリ
一面ニハレテ日ヨリノヨキヲ云唐詩一日園林好清
明烟火新是ナリ一威ナト少シモノコリタルヲノナ
キナリ

〇ハハ

母

子ヲ産タル女ヲ云ナリ老子有名萬物之母是ナリス
ヘテ形象アルモノナレハ産出スル喻ヲトレリ

妣

死タル母ヲ云ナリ禮記生曰母死曰一サレトモ祖ヨ
リ以上ハスヘテ先祖ト稱シ祖母ヨリ以上ハスヘテ
先妣ト稱スルナリ

娘

婦人ノ肥大ニナリタルナリ嬢ト同シ杜詩不聞耶一妻子
走相送塵埃不見咸陽橋

媽

老母ヲ云ナリ字典一俗讀若馬平聲稱母曰一多ク俗
語ニ用ル字面ニシテ正文ニハ用ヒス

姆

女ノ師匠トナル老女ナリ小學一教媿媿聽從五十以
上ニシテ嫁セサルモノ姆トナルナリ

嫗

子ヲ育セルヲ云ナリ漢書嚴延年兄弟五人皆大官母
曰万石一モト子ヲ懷ニ入レテ温ルヲヨリツ井ニ轉
ノ肌ニテ人ヲ温ルヲニ用

〇ハハ

婆

年ヨリタル女ヲ云説文老母稱方俗稱舅姑曰公一婆
ハ翁ノ對ナリ姑ヲ婆ト稱ス此方ニテ姑ヲ母ト云ト
同シ

媯

姆ト同字ナリ祖母ノ一ニハ非ス老女ノ一也晋書會

言文類聚卷一

有孤一養二鵠六朝以後ノ文字ニテ老女ニ字合セタルナリ
媼ノカ、マリタル女ナリ正字通俗稱老婦曰一
慈愛ノ深キ老女ヲ云國策一之愛燕居賢於長安君

○ハケモノ

妖 ヨノツ子トカハリタルモノナリ左傳人棄常則一興
是ナリ人一詩一鼓一艸一ナト皆非常ノ物ナリ

魅同

人ヲハカシマヨハスモノヲ云周禮以夏至日致地示
物一註百物之神曰一

孽 正シカラサルモノヲ云史記妖一數見

魔 モノ、碍リニナルモノヲ云白詩惟有詩一降未得每
逢風月一閑吟トアルモ詩作ハカリカ心ノ碍トナル

ヲ云

化 變化化生ノモノナリ周禮能生非類曰一
合點ノ方又モノヲ云論語子不語一カ亂神

○ハタヘ

肌 俗ニ云キメノ一ナリ酒德頌不覺寒暑之切肌キメニ
入ル一ニ肌ニ粟ヲ生スナトハキメアラクサラクト

シタル一ナリ

膚 ウハカハヲサシテ云ナリ詩經一如凝脂トイヘルモ
上皮ノ所ニツヤヲ帶タルヲ喻タリ故淺ハカナル一

ヲ膚淺ト云語アリ

媵 スチアヒノワカル處ヲ云ナリ史記君有疾在理コ
レ毛孔ヨリ連リタルアミノ如キスシナリ媵理ト云

ハ木目ノ如キヲ云

言文類聚卷一

七

諸文類聚卷一

臚 下ヨリ上エフクレタル處ヲサスナリ 抱朴子 能解テ

以理腦

○ハラ

腹 内ニモノヲ多ク蓄ヘタルナリ 禮記 孟冬之月水澤一

堅ト云ヘルタクヒスヘテソノ内ヲサシテ云一ニ用

ル字面ナリ

肚 脗サキヲ云ナリ 廣韻 腹一 正字通 俗呼曰一

○ハキ

脛 膝ヲ骨アル處ヨリ下ヲサシテ云 史記 大於股一 不折

○ハ必披

膝 膝ヨリ向フス子ナリ 字典 脛 一 也

腿 毛ノ後ノ方ヲ云ナリ 正字通 一 股後肉也 俗謂股大

一腓小

脛 ノ中ノ骨ヲ云ナリ 史記 生不遭堯與舜禪 短布單衣

適至

骹 足ニ近ク細リタル所ナリ 正文通 一 近足者

○ハタカ

裸 衣服ヲ着用セヌヲ云 孟子 雖袒裼裸裎於我側一 トコレ

裸ハ裎ヨリ甚シ人ヲ一 蟲ト云モ身ニ羽毛ナトノナ

キヲ云

裎 身體ヲマルニ見セタルナリ 見上 呈ハ獻呈ノ義ニヘ

ノコル所ナキ一 ナリ 獻體 ト左傳ニアルモコノ義ナ

リ

○ハタスク

釋文類聚卷一

祖

ハタエノ内ヲアラハスヲ云見上祖ハ元來モ口肌ヲ見
セルヲニ非ス左一右一ノ語アリ且ニ从フテ日ノ出
ル喻ニトレリ

裼

ウエノ衣服ヲスキカケルナリ見上裼ハ襲ニ對スル
字ナリ禮記ニ見ユ祖ハ裼ヨリ甚シ裸ト程トノ如シ
ハカマ

袴

裾ノ兩方ヘ分ルヲ云釋名一袴兩股各跨別也

褶

ヒタアルハカマヲ云ナリ儀禮縫者以一習ハ重ナリ
ヒタヲトレハタ、ミカサナル義アレハ習ニ从フ

袂

合セノハカマナリ玉篇一襲袴也

禪

野ハカマノヲナリ蒙求相如身自著犢鼻一

裙

スソツキヲサシテ云唐詩今日施僧一帶上トアルモ

○ハタ

ハカマト帶トナリスベテ衣服ノスツト心得ルハ非

旌

鳥羽ヲ竿首ニ施シタル目印ノハタナリ禮記武車綏

一德車結一

旗

熊虎ヲ画キタルハタナリ文選張鳳蓋建華ト說文釋

名ナトノ說ニ斯ヲ以テ釋ス熊虎ハ威アル獸ソノ會

期ヲタカヘサルニトレリ

旆

ハタニツキタル尖ヲ兩股ニシタル吹チリナリ詩經

悠々一旆トアルモ旌ニ舟タル吹チリ一ト云モ吹

チリハ靡ヤスケレハナリ

幟

目シルシナリ史記拔趙一樹漢赤一織ト通用スル一

詩經ニ見ヘタリ織文鳥章是ナリ

釋文須知實卷一

三十

詩文須知寶鑑卷一

旒 龜蛇ヲ画キタルハタナリ爾雅緇廣充幅長尋曰一コ
レ色ノ黒キハ北方ニ象ル旒ノ四ツハ金ノ數ハ水ニ
相生ノ行ヲトレルナリ

幢 頭ニ羽毛ヲ施シタルハタホコナリ翻ト通用ス方言
楚曰翻関西関東皆曰一陳モ楚ニ近ケレハ翻ト云ト
見ユ

葆 羽ニテシタルサシカケ傘ナリ禮記匠人執羽一御柅
ソノ形大クシテ物ヲ覆ニタル故ニ一ノ字ヲ大ナル
一ニモツ、ミカクス一ニモカリ用ユ

旂 旗ノナヒキナリ周禮天子玉路大常十二一至地
段々筋ノ三游タルニ白絹ノヘリ取タルヲ云周禮九
旗雜帛為一俗ニ云吹拔ナルヘシ

旗 鳥隼ヲ画キタルハタヲ云詩經彼旟旒胡不旆々一是
ナリ與ニ从フハ人人ノ與ニシテシタカフ心ナリ釈
名ニ譽ヲ以解シタル非ナリ

旒 冕ニ付タル瓔珞ノ如キモノヲ云同上為下國綴一ト
云モ旗ノ繆ヘ旒ニトリツキタルモノヨリ冕一ニモ
假リ用ヒシナリ

翻毒縣同 大ナルハタホコナリ詩經左執一右招我由教
重ノハタマテナヒキトリ付モノヲ云周禮注正幅為

旂 比ラクトシテ遠方マテ見セル心持ナリ漢書諸生舉
一大學下
旂 大將ノ手ニ取テ軍配スルヲ云左傳一動而鼓

釋文須知寶鑑卷一

言文須知寶卷

翠

唐團ニテサシカケルモノヲ云禮記周人牆置

罕

行列ノカサリニ用ユル大ハタナリ正字通雲一犬旗

也

壇

夕、一幅ノ無紋ノハタナリ周禮通帛為一又孤卿建

一、コレ文章ナキ故ニ賤モノヲタツ直ハ丹ト通ス色

赤シ尔雅ノ注白練ヲ以テ旂トスルハ誤ナルヘシ

帘

酒屋ノカンハンナリ字典青一酒家望子

旗

模様ナクシテ柄ノ曲リタルヲ云說文一所以一表士

象

旂

文龍ヲ画キ鈴ヲ付タルハタナリ詩經君子至止言觀

其旗ハ各別ナリ正字通ニ說文ノ分テ二トスル

ハ非ナリト云ハ反テ誤ナリ

○ハコ

篋

ヒツナリニシテ細長キハコナリ禮記入學鼓一孫其

業也戰國策ニ出シ文ニ據テ旅持ナトニスルモノト

見ユ

箱

スヘテ納モノヲ云字典車内容物處曰一又一竹器詩

經ニクルマヤニ用ヒタルモ大小ニ限ラススヘテ物

ヲ入ルヲ云

筥

圓キ器ナリ詩經維篋及一字書ニハ盛米器ト注シ周

禮儀禮ナトニモ米ヲ入ルモノト見ユ俗ニ云イカキ

ノ類ナリ

筥

手モトニツカフハコナリ禮記苞苴簞一書經惟衣裳

在

言文須知寶卷

三十一

函 入コニシタルヲ云俗ニ云藥籠蓋ナリ世說劉穆之善

尺牘自且至日中得百一コレ文箱ヲ云ナリ

奩 諸道具ヲ一處ニ入ルナリ正字通今俗以物送女嫁日妝

一コレ此方ノ長持筆筒ヲ嫁入道具ト云同シ

匱 モノヲ入テ出シニクキヨフニシタルナリ書經包一

菁茅後世ニハ訃訟ヲウケル役所ヲ一使院ト云六典

二見ユ則天ヨリ始レリ

篋 竹皮籠ナリ漢書遺子黃金滿一不如一經

手本ニツカフ何トナク物ヲ入ナリ莊子威之以篋一

也イ高キ竹皮籠ナリ說文一竹高也

匣 外ニカフセフタアル具合ヨキ箱ヲ云杜詩平生白羽

扇零落蛟龍一

盒 上下ノ合タルモノヲ云字典一盤覆也

櫝 サヤニシタル外箱ナリ禮記戈有双者一

人ニ見セヌヨフニシタルヲ云莊子將為胠篋探囊發

之盜而為守

笈 脊笈ニスルモノニテ今俗ニ高野聖ト云モノ史記負

從師アル是ナリヒシリハ避秦ノ轉語ト云說アリ

未詳

筐 真四角ナルハコナリ詩經不盈傾一ト是圓キモノハ

傾ケテモ隅ノ處へ行ナシ方ナルユエニ傾レハ隅

ノ處へ盈ルナリ

篚 カフセフタナトアリテ上ヨリ見へサルヨフニシタ

ルヲ云書經厥一織文孟子一厥玄黄ナト端物ヲ入ル

器ナリ

械 錠マヘナトノ付タルシメ切リノハコナリ漢書星辰
過太白間可一劔

○ハカリ

權 ツリ合ノヨキヨフニスルヲ云漢書五一之制以義立
之五一ハ銖兩斤鈞石ナリイツレモツリ合ヲヨクス
ル器ト云ナリ

衡 ハカリサホヲ云書經同律度量一衡ハモト古ノ横ノ
字魚ノ行一横ナルニトレリハカリノサホモ横一支
字ナル故ニ用ユ

銓 ハカリノ重リナリ淮南子縣之于衡

鍾 ヲモリノ下リタルヲ云博雅權謂之其形一也

秤 ツリ合ノヨキヲ云ナリ正字通我心如不能為人

低昂

稱 秤ト同シ義ナリ同上權衡正斤兩者

○ハハキ

箒 塵ヲハキトルモノヲ云禮記為長者糞之禮加一於箕
上ナトコレハタ、常平生ノ箒ニテ掃除スルヲ云
地ヲ清メル心持ナリ史記高祖朝太公擁一ト是今ノ

箕 馳走ニ手桶箒ヲ設ケヲクト同シ意ナリ

筥 先ノヨク利クヲ云タトハ茶一狼一ナトヲ以テ考

シルヘシ

筥 邪氣ヲ拂マシナイニ用ルヲ云禮記膳一君有葷桃

○ハナ

釋文類聚

卷四

花 ○タ、一通リ艸木ノ花ナリ **說文** | 本作華榮也モト華

ノ代リニ用ヒシナレ氏後世ニハ各別ナリ

華 モノ、花ヤカニハヘアルナリ **韓文** | 舍英咀 | コレ文

詞ノ精妙ナルヲ花ノハヘアルニタトヘタルナリ

萼 花ノチクヲ云 **詩疏** 花下有 | 下有柎花 | 相承覆古

へハ鄂ト通ス鄂丕ト云ヘルハ萼ト柎ノナリ丕ハ

柎ト音近シ

蓋 花ノ中ノシヘナリ **正字通** 花外曰萼花内曰 | 萼ハア

ラハレタル | ニテ蓋ハ内ニコモリタル | ナリ

葩 花ヒラ一ツクヲ云 **坡詩** 温風散晴 | **韓詩** 玉枝攢霜 |

イツレモ花ヒラノ一ツツ、分レ或ハ一ツツ、アツ

マリタルナリ

英 花ノニホイナリ **詩經** 有女同車 顔如薜 | 央ニ从フハ

中央ノ義ニテ花ノ真中ニメスクレタルユヘ人ノ秀

出ニカク用ユ

蕊 花ノサカリカケナリ **文選** 天地網緼百井含 |

花ノサキ出ルナリ **禮記** 木槿 | **陶詞** 木欣欣以向 |

ハ花輪ノ | ニ非ス木ノ精華ヲ云故ニ枯ニ反對シテ

云ナリ

柎 花ノタイナリ **說文** | 鄂足也草木房為 | コレ木ニ花

ノ付タル本ヲサシテ云故ニ从心付ニ从フ字書ニ萼

ト混スルハ非ナリ

瓣 花ヒラノ一ヒラヲ云 **正字通** | 卽瓜屨又片也

○ハリ

針 通シテシメタルヲ云世説注磁石引一琥珀拾芥

刺 サキノイラツクヲ云正字通棘芒曰芒

○ハサミ

鉸 ハサミノ姿ヲ云字典一即今婦功縫人所用者

剪 ハサミノハタラキヲ云説文一齊斷也

二類

○ニシ

虹 ハシヨリハシマテワタシタルヲ云禮記一始見又一

藏不見橋ノタトヘニ虹ノ字ヲ用ユルモ一文字ニワ

タシアル心ナリ

霓 色ノハキリトセサルヲ云文選龍輅充廷雲旗拂

霽 其義未考 爾雅蟠蜧謂之

蟠 陰氣ノ下レルヲ云詩經一蟠在東莫之敢指

蜧 蟠ノ音ノ轉セシナリ正字通同蟠詩石經改作

蜧 陽氣ノ應スルヲ云見上

蟠 霓ノ音ノ轉セシナリ史記其一者類闕旗

齊 水氣ノ下ヨリノホルヲ云詩經朝一西崇朝其雨

○ニハ

庭 地面ヲ平ニシタル場所ナリ論語八佾舞於一トアル

表ノ書院サキノ一ナリ公然トノ八佾ヲ用ヒシヲ云

何ニテモ用立チツカフ所ヲ云詩經九月築于圃ト

ハヤカテ禾稼ノコナシ場ニセンタメ畝ニツカヒシ

所ヲツキ固ルナリ

墀 カツラ石ヨリ階マテノ間ヲ云杜詩陽春度玉一文選

釋文類知實卷二

三六

ニ金一ナトアルハツノ堅ヲ云字書ニタ、丹ヲ以テ
ヌルト云ハ非ナリ

壇 一段高クシタル所ナリ禮記去桃為去一為壇

除 掃除ヲシタル所ナリ文選循階一而下降

壇 砂ヲマキ清メタル所ナリ書經為三壇同

○ニハタツミ

潦 水上ナク流ル、水ヲ云孟子河海之於行一也トアル

汙 八道ハタヲ流ル、根ナシ水ナリタマリ水ニハ非ス

汙 一クホタマリタル所ニ水アルヲ云左傳潢一行潦之水

潢 一汙ハ原來隆ノ反對ナリ地形ノ卑キ所ニタマル水ナリ

潢 水ヲタメヲク一ナリ見上裝潢ハ俗ニ云表具ノ一天
一ハ天河ノ一イツレモ水ヲタメオクヨリ譬タルナリ

○ニコリサケ

醪 シタマサル酒ヲ云古文後集銜杯漱

醴 禮儀ニ用ユ麴ノ少キ酒ナリ禮記始飲酒者先飲一酒

醴 色ノヨキ濁酒ナリ說文濁酒

醴 醪ヨリハ少シク濃キ酒ナリ禮記黍一

醴 梅漿ヲ用ヒ酸味ヲ帶タルヲ云莊子生者醴一物也

醫 醴ノ音ノ轉セシナリ周禮辨四飲之物二曰一

醴 醪ヨリ少シク清タル酒ナリ禮記醴一在一戶

醴 中クミサケ杜詩家貧止舊一

醴 白酒ニ青色ヲ帶タルヲ云正字通白酒

○ニエ

贄 禮儀ニテ人ニオクルヲ云左傳男一大者玉帛小者禽

鳥

○ニキテ

幣 シルシニヲクルシナナリ孟子恭敬一之未將者

ホ類

○ホリ

渠 運送ヲ通スル一ナリ史記西門豹為鄴令開十二一灌

田今ノ俗ニ堀ヲ用ル所多此字ナリ高瀬川ナトハヤ

ハリ一ナリ

隍 カラホリナリ易經城復于一カラホリノ一ニ一ニ字書

ニ無水曰一尔雅ニ虚也凡注スルヲ以テシルヘシ

堀 シタヤナリ左傳吳公子光伏甲于一室而享

澗 要害ニナルホリヲ云史記深一而守

壕 シロノホリヲ云杜詩雁鳴寒雨下空一城下池ナリ

○ホラ

洞 中ノ空虚ナルヲ云ナリ正字通一山巖有孔穴者

岫 タノ部ニ見ユ陶辭雲無心而出一

窟 キリ岸ニアル洞穴ナリ集韻山崖空穴間貌

○ホカ

外 シキリヲ立タルソトノ方ヲ云易經男正位于一

表 ウハハキノ見コミノ處ナリ書經光被四一

振 ホウタテ柱ニトリツケタル木ナリ方言一隨也注一

柱令相隨也

○ホト

程 モノ、ツモリヲシテ定メタルナリ三體詩行盡江南

釋文類和書卷一

數十一ナト驛路ノ立場ノ數ヲ定メタルナリ

○ホシ

星 キラクト一點ツ、分レタルヲ云詩經有嗟其

宿 井スハリタルヲ云ナリ宋詩爭險挂星

辰 ソレクノ場所へ動クヲ云周禮馮相氏掌十二

○ホトリ

邊 トリマハシタル端ナリ韻府有人得道猶如食蜜中

皆甜

口 入口ノ所ヲ云唐詩三洲斷江口

涓 水ト艸トノ打アイナリ詩經所謂伊人在水之涓

畔 ○ホワキエハツレタル方ナリ說文一田界也

澗 水ニツキタル所ナリ杜詩松筠起碧澗

澗

水ニチカキ所ヲ云詩經率西水澗池之竭矣不曰自澗

瀕ト濱ト通ス孟子ニ伯夷避紂居北海之濱云是ナリ

○ホ子

骨 人物 精氣カタマリタルナリ禮記凡為俎以骨為主

鯁 咽ニ立タル骨ナリ正字通一骨不下咽

骸 總身ノホ子ヲ云莊子直寓六亥十二辰ノ畢ナリ凡亥

ニ从フ字皆ヒキスフル意アリ

髀 外五露レタル骨ナリ禮記掩骨

骹 足ト膝トノ交リ細キ所ノ骨ナリ說文一脛也

髀 膝ノ骨ナリ俗ニクルフシト云同上一兩股之間

髀 骨ノ上肌ヲ云列子一骨不砥

髓 スノ部ニ出

髀 髀ノ音ノ轉セシ **正字通** 俗髀字

○ホノホ

炎 火ノ上ヘモエアカルナリ **書經** 火曰一上火ノ上ヘ火ノ

字ヲフヘタル會意ナリ

爛 火氣ノモヘツクホトノ勢アルヲ云 **玉篇** 火焰也

焰 上ト同字ナリ **說文** 火行微燄燄也

燐 キラト青光リナルヲ云 **正字通** 鬼火也

焱 左右ヘ分ル光ヲ云 **文選** 炎炎揚光飛文

熠 チラトトキエヤスキ心持ナリ **詩經** 熠宵行

輝 外ヘカ、ヤキウツルヲ云 同上 庭燎有

熿 毛ヘノコリタルナリ **例用** 毛ノ部ニ出

燿 タント光ノアルヲ云 **文選** 彫琢有章灼爛明

煌 火氣ノハツトシタルヲ云 **詩經** 明星

燿 高クアカリテ見ユルナリ **說文** 火飛也

○ホコ

及 一丈二尺アル又ナキホコナリ **詩經** 伯兮執一為王前

駟ト是前ハラヘノモツ物ヲ毆ツ捧千切木ノ類ナリ

稍 一丈八尺アル又アルホコナリ **正字通** 馬上所持

矜 前ノ格別ニ尖タルナリ **廣韻** 稍也

戟 十文字ノ枝アルホコヲ云 **周禮注** 今三鋒戟也ト是

ナリ左傳ニ一手ト云一アリ左右ノ手ヲ上エアケ下

ヘサケテ怒ル状ヲ云

槩 稍ト同字ナリ

釋文須知實卷一

三十一

鈍 矛ト同キナリ方言矛吳楚之間謂之

戣 其義未考書經一人冕執

矛 長サニ丈ニノ鉤アルホコナリ詩經二重喬

鉞 小ク短キホコヲ云漢書注一鐵把短矛也

鉞 矛ノ古字ナリ

鉞 小キホコナリ方言矛或謂之

鉞 大ナルマサカリナリ書經王左杖黃斧ヨリ又大ナルヲ云

戈 斤鉤ノホコナリ禮記一鉤子戟也如戟而橫安刃但頭

不向上為鉤也

祭 上オソヒラシタル戟ニテ木ニテ其形ヲ作タルナリ

漢書有衣之戟曰一滕王閣序ニ祭戟トアルハ行列ニ

モ夕セル儀式ノモノナリ

劉 其制未詳ヤハリマサカリノ類ナリ書經一人執

戚 マサカリノナリ左傳君王命剝圭為一松

戣 マサカリノナリ今揚ニ作ル詩經于戈戚揚

公 三隅ノホコナリ詩經一矛塗錡

鋒 ホコ尖タルナリ漢書身自將之為楚軍前

鬩 小キホコナリ元史一制如戟鋒刀兩旁微起下有鐔銳

鋒 鋒一

鋒一

○ホトキ

釜 腹大ク口スコシクシマリタル器ニテ今ノ塚ノ如キ

モノナリ易經有孚盈一

盆 二罇ノ入目アルヲ云史記請奉一甒以相娛樂

甒 小キ口ノ器ナリ淮南子抱一而汲

甒 カタクシマリタル器ナリ文選傾縹一以酌醪醑

甒 水ヲ盛ル大ナル器ナリ左傳備水器注盆一之屬

甒 燒物ニシテ酒ヲ入ル器ナリ爾雅一謂之缶

甒 雷ノ紋ヲチリハメタル大ナル器ナリ詩經酌彼金一

甒 夕ヒノ長キ大ナル器ヲ云杜詩茗椀蔗漿塲所有瓷甒

甒 無謝玉為一

甒 小キ器ナリ吳志先以銀一自飲唐詩當時金一

盃 酒食ヲト入ル大ナル器ナリ韓非子君猶一也民猶水

盃 也 食ヲモル小キ器ナリ字典一孟屬今之所謂一孟也同

鉢

○ホシイ井

糲 用意ニタクハフヲ云史記載一給貳師

糲 カノ部ニ出

糲 熬コカシタルヲ云書經峙乃一糲疏一擣熬穀也今ノ

糲 俗ニ云ハツタイナトノ類ナリ

○ホシシ

膾 骨ナク大ク切りテ乾シタルヲ云禮記祭一注一大膾

也

腊 小キ物ヲマル乾ニシタルヲ云易經噬一肉

臠 平カニキリテ乾タル肉ナリ公羊與四一脯

脯 薄ク切りテ乾シタル肉ナリ詩經爾穀伊一

釋文音和壽二

膜 用意ニタクハヘオク品ヲ云說文一、脯也注世通謂儲

畜食味為一

脩 久シクカ、リテ干タルヲ云論語自行束一以上吾未

嘗無誨焉

脬 鳥ノ全乾ニシタルヲ儀禮夏用一

臠 魚肉ノ全乾ニシタルヲ云禮記夏宜脬一

○ホゾヌノ

絨 毛ヲ以テ織リタル如クホソキ縮ナリ玉篇一、細布也

絺 細キ糸ヲ以テ織タル葛布ナリ詩經為一為絺

縹 生糸ニテ疏ク織タル細布ナリスシノ屬ヲ云釋名

○ホ 齊人謂涼為惠言服之輕細涼惠也

縹 子、ミノカ、リタル細布ナリ詩經蒙彼一縹

○ホタシ

羈 自由ナラヌ様ニスルナリ莊子至德之世禽獸可繫一

而游

絆 足ニヒキカ、ル様ニスルナリシリカイナリ左傳鞮

鞮鞻一

鞮 シリカイヲ云莊子連之以羈一

鞶 鞮ト同字ナリ詩經一之維之以永今朝

鞞 ムヲカヒ又ハルヒノ一ナリ禮記執羈一而從也

○ホ

帆 風ヲモタセテウカヘルヲ云世說行人安穩布一無恙

○ホハシラ

桅 高ク舉タルナリ正字通俗謂舟上帆竿曰一

播 シツカリト心柱ニシテオクモノヲ云韻府一挂帆

木

○ホコノヘ

秘 ホコヲタスケルモノナリ左傳君王命剝圭以為鍼

○ホソ

簾 筍ヲ承ルホソナリ同上直曰

筍 サキノ尖リタルホソナリ周禮注樂器所縣横曰

譯文須知卷之一 終

譯文須知卷之二  實字部

愚山松本先生解詁

門人 近江 鵜飼良輔校訂

へ類

○ヘリ

絶 二色ヲ雜テ用ユルヲ云禮記注一謂縁之也飾邊曰

縁 小ベリヲトツタルヲ云同上

襖 モヨフノ切ヲモツテエリヲトルヲ云說文一襖領也

池 今ノ俗ニ云フクリンナリ選詩衣被皆重一注一者被

心如一也

襖 襖ノ音ノ轉セシナリ說文襖謂之一

○ヘタ

譯文須知卷之三

詩文類聚卷之二

蒂 ○ 取ツキアル所ヲサシテ云陶詩人生無根一

囊 上ニ同シ古ノ字ナリ

卜類

○トゴラ

扉 向ヘツキヤルモノヲ云李詩引領望金一

扇 アケタテヲスル一ナリ禮記仲春乃修闔一

○トボツ

扃 外ヨリメキリタルトサシヲ云禮記入戸奉一

樞 戸ノ丁ツカヒナリ史記陳涉甕牖繩一之子一ハ戸ノ

アケタテヲスル柱ニ打付タルヒシ金ナリ故ニ動サ

ル諭トセリ

度 戸ビラニサスセンノ一ナリ廣韵一度ハ戸牡所以止

扉也

度 扉ノセンヲウケル牝ナルベシ見上

關 俗ニ云クハンノ木ナリ後世ハ門ノ字ヲ用ユ左傳斬

一而出

○トナリ

隣 近キアタリノ一ナリ詩經洽比其一古字ムニ作ルモ

ト人家ノタチナラヒタル象ナリ四一ナト云ヘル棟

數ヲ以テ云詞ナリ

比 門ナラビノ所ヲ云周禮五家為一使之相保人ヲナラ

ベタルヲ一ト云モト主人ニ四隣ヲ加ヘタル義ナリ

故二人ノ親ム一ニモナルナリ

○ト口

畢文類聚卷之三

泥 一面ニベツタリトシテ分チナキヲ云書經厥土惟塗

淖 水ト土トノ一ツニナリタルヲ左傳有於前又相違

於一

渟 スベルトコロヲサシテ云同上晋戎馬旋而上

淤 水ノヨトミテ濁リタルヲ云説文一澱滓濁泥也

塗 踏ツケテトロタニナリタルヲ云韻府嚴子陵泥一軒

冕

○トノ

殿 定リタル御坐所ナリ漢書注古者屋高嚴皆名為一不

必宮中座ナリ鳥ノ

○トクラトマル座ナリ鳥ノ

峙 寐所ニシタルヲ云詩經鷄棲于一

桀 高キ所ニアルトマリナリ同上鷄棲于一

柵 木ヲ編立タルヲ云杜詩牆東有隙地可以樹高一

○トリテ

寨 要害ヲカマヘル所ナリ廣韻一山居以木柵或ハ柴ニ

ツクル又通ノ柴ニツクル

柴 人ノ往來シカタキ一正字通一柵也師行野次立木為

區落別墅有籬柵者謂之一

○トシ

歲 星ノ天ヲ一周スルナリ楚詞獻一兮發春

年 祀ト同字ナリ字典祀古作一

期 マル一年ノ一ノクリヲ云書經一三百有六旬有六日

華文類聚

詩文須知實卷二

モトツノ目當トスル所ヲサシ云詞ナリ秋以為トナト以シルベシ

祀 殷ノ世ニ用ヒシ詞ナリ同上惟元一傳取四祭祀一訖也

霜 地ニアルモノ、一年ナリ唐詩客舍并州已十一

載 唐虞ノ世ニ用ヒシ詞ナリ爾雅一歲也

茲 ヒトキリアラタマルナリ正字通今年亦曰今一以州

木茲生紀也

紀 十二年ヲ一回リトスルヲ云文選漫踰一以迄今一モ

トハ綱ノ小繩ナリ十二年ヲ一ト云ハ六十年ヲ綱ニタトヘテノ義ナリ

稔 五穀ノ熟スルヲ云左傳不及五稔注一年也

星 歲ノ字ト同意ナリ列用一霜トソ、ケテ使フナリ

○トキ

時 スヘテモノ、ヨキ旬ヲ云詩經維其一矣時一ハ古ノ是

ノ字ナリ學記ニ物當其可ト云如ク折ヨキ心モチナ

秋 今カ最中ニテ肝要ノ片ト云心持ナリ出師表危急存

亡之一也モト秋ハモノ、成熟ノトキナルヨリ轉用

セシナリ

候 様子ノ見ル、ヲ云爾雅注大火心也在中一最明時一主

焉

刻 小割ヲシタルヲ云正字通漏刻鏤漏箭以候日晷故謂

晷度曰一

釋文須知實卷二

詩文須知寶卷二

節 一切ツ、ノ、ナリ左傳疏ハ、之日登觀臺書其所見雲物氣色

辰 日カラノ、ナリ楚辭吉日兮、良モト星ノヤトリニ

シテ十二辰ノ、ナルヲ毎日ノ十二時ニ配當シタルヨリ云ナリ

○トモ トモカラ

友 氣ノアヒテ親シキモノヲ云論語友也者、其德也貴

賤長幼嫡庶ニカ、ハラスシテ懇ニマシハルヲ云ナリ

執 父ノ友夕チナリ禮記見父之、不謂之進不敢進

旅 一トムレノ、ナリ正字通同見為、見徧酬逮下為、

酬

僚 同役ノ、書經惟暨乃、

儕 上下ノ差別ナキヲ云左傳晉鄭同、

朋 並ビタルモノヲ云易經勿疑、盍簪

等 ツリアイタルナリ禮記見同、不起

伴 ツレソフモノヲ云楚詞衆駭遽以離心、又何以為此

一也

曹 ヲナシ所ニスムモノヲ云李詩歡立冠、人、

寮 同シ高ナルナカマ内ナリ爾雅注同地為、同官為寮

儔 ヲレクニ分リタル、韓詩鳥吟新得、

侶 大勢ツレタツナリ正字通徒伴也

輩 行列シテユク心持ナリ後漢書時人以、前世趙張

隊 同シ組合ナリ正字通唐王毛仲牧馬、每色、

釋文類

讀文須知實卷二

伍 組合セタル中ヲ云史記生乃與噲

○トホシヒ

燈 火ノトホシアルヲ云ナリ韻集燈無足曰コレモト

器物ノ名ニシテ鑑ニ作ル馬具ノアフミナリツレヲ

火ヲトホス用ニシテツイニ火ニムフ

燭 火光ノアタリヲテラスヲ云禮記夜行以無則止

炬 ハツトシタル火光ナリ正字通一東茅燒之

釘 アフラツキノ類ナリ韻會俗謂金一為鑑字典ノ説ニ

ヨレハ高塚ナトニ打アル釘隱ノ一ナルヲ誤用ヒシ

ナリ

燭 チツホリトトホル一ナリ莊子日月出矣而火不息

燈燭ノ火ノ中心ヲ云正字通一火炷燼所著者

○トフヒ

烽 相圖ノノロシヲアケル一ナリ唐詩一火照西京元來

一ハホサキノ一ナリ遠方へホサキヲ見セル一ナリ

燧 打火ヲスルナリ左傳鑽一改火期可已矣

○トマ

苫 ワラナトヲアラクアミタルナリ禮記居倚庐寢一

篷 屋根ツクリニシタルヲ云正字通一編竹夾著覆舟車

者

トハリ

幌 見ヘスク様ナルウスキ幕ナリ正字通一帷幔也

幃 スツホリト包マハス一ヲ云説文一禪帳也

帷 取マハシテ旁ヲカコフヲ云史記孔子見衛夫人夫人

釋文須知實卷二

詩文類考卷二

在絺一中拜

幃 單ノタレヌノナリ釋名一圍也以自鄣圍也

帳 ヒラクトシタルヲ云說文一張也

幔 見切ラスルナリ正字通唐一宴鋪百官皆有舍

○トラ

鉦 タ、キカ子ナリ坡詩樹頭初日挂銅一

鑼 トラノナリ正通一築銅為之形如盆

鏡 ニヤウハツノナリ唐詩一吹喧京口

鈸 上ニ同シ韻會其圓數尺隱起如浮漚以韋貫之相擊

鐺 ワンノ類ト見ユ周禮注一鉦也形如小鐘

○トリ

鳥 スヘテ羽アルモノ、惣名ナリ詩經相彼一矣尚求友

聲

禽 トラヘラル、モノヲ云左傳公孫黑又使強委一焉

ハスヘテ生類ノ通稱ナリ故華佗ノ五ノ戯ト云

○ト

戸 片トビラノ開キノ口ナリ詩經塞向墜一

子類

○チマタ

街 町ノ行義ヨク通リタルヲ云文選走馬章臺一

巷 ツジ小路ナリ大學序上自王宮國都下及閭一莫不有

學

阡 長クツバキタル町スジノ一史記開一陌風俗通南北

日一河東以東西為一

華文類考卷二

詩文類考卷二

陌 阡ヲ横ニワリタル町スチナリ同上東西曰一河東以

南北為一

坊 一組合テ門ナトノアル町ナリ韻府細婢良馬無價而

市不鎖櫃一

歧 道ノ二筋ニ分レタルヲ云列子一路之中又有焉吾

不知所之

逵 道ノ幾筋モ分レタルヲ云詩經施于中一

○子リ

塵 土ノ細カナルヲ云三體詩渭城朝雨浥輕一

坩 コハイナリ正字通一埃起也

垝 其義未考說文一塵埃也

埴 微塵ホコリナリ文選軼埃一之混濁

氛 ゴミタツケシキヲ云左傳楚一甚惡

埃 ホノ部ニ出ツ

○子

父 テ、親ナリ易經乾稱乎一

爺 貴ミタル心持ナリ杜詩一孃妻子走相送

考 終ヲヨクシタ玉フ父ナリ易經一有子一无咎

禰 父ヲ廟ニ祭ヲ云全上立之主指廟曰一

箸 方言ナリ正字通今俗稱父曰爹曰一

爸 上ニ同シ同上 羗人呼父也

爹 上ニ同シ見上

○子

血 凡身體ニアル液汁ヲ云易疏人之有一猶地有水也

華文類考卷二

護身須知寶卷二

益 膏油ノ交リタルヲ云左傳士刲羊亦無一也

蠟 血ニテ汚レタルヲ云漢書子一宗室

○チカラ

カ 氣ノイタルヲ云孟子其至爾一也其中非爾一也

拳 チカラコブナリ詩經無一無勇職為乱階

○チ、

乳 子ヲクテルモノヲ云正字通一婦胸酥漣以哺兒也

漣 チ、ノ汁ナリ唐書乳中一流哺兒兒能食乃止

酪 酥ヲ一遍制シタルナリ釋名一澤也乳汁所作使人肥

澤也

リ類

又類

○又カ

糝 粉米ナリ字典屎米而細者曰一

糠 米ノ上皮ヲ云史記舐一及米

ル類

ヲ類 才併

○才カ

岡 山ノ根ノ角ダテタルヲ云詩經鳳皇鳴矣于彼高一

阜 池ノクルリノ小高キ處ナリ同上鶴鳴九一

邱 長ク平ナル場所ナリ陶詞亦崎嶇而經一

陵 ツキ立テ高キヲ云書經懷山襄一

阜 土ヲ積上タルト云ホドノ一ナリ詩經如山如一

塿 物見ニスルホドノ所ヲ云國語培一不生松柏

畢文類聚

讀如須知實卷二

隴 少シ小高キ所ナリ孟子必求一斷左右望岡市利

培 平地ヨリ一段高キヲ云見上

墟 地形ヲ作りタル所ナリ韓文新涼入郭墟

○オキナ

翁 白頭ノ人ヲ云漢書與長孺共一老秃

叟 老人ヲサシテ云孟子一不遠千里而來

○オトコ

子 御前ト云ホドノナリ論語注一男子之美称

男 ハタラキテ用立モノヲ云莊子多男子則多懼

郎 少年ノ人ヲサシテ云杜詩馬上誰家白面

夫 家ノ主ヲサシテ左傳聞敵強而退非一也

漢 朝リタル詞ナリ輟耕錄今人謂賤丈夫曰一

丈 後世ノ語ナリ尊タルニ用ユ字典一朋友尊称

儻 方言ナリ賤ノタルニ用ユ字典一鄙賤之称也

甫 成人シタルニ用ユ説文一男子美称

○オンナ

女 ムスメノナリサレ凡汎クカリ用詩經乃生一子

婦 ヨメノナリコレモ汎クカリ用爾雅子之妻曰一

娃 美人ノ文選資姫一之美髦

子 少女ノ國語一女玉帛君則有之

孀 官女ノ正字通嬪一婦官名

○オハ

姑 父ノ姉妹ナリ爾雅父之姊妹曰一

姨 母ノ姉妹ナリ正字通母之姊妹亦曰一

釋文類和實卷二

嬸

父ノ妹ヲ云字典俗呼叔母曰一

○オチ

叔

父方ノヲチナリ正字通一季父也

舅

母方ノヲチナリ同上母之兄弟曰一

○オト

弟

次男ヨリ以下ナリ詩經令兄令一

季

後嗣ニ非ルヲ云同上嗟予一行役

○オイ

甥

姊妹ノ子ナリ正字通姊妹之子曰一

姪

兄弟ノ子ナリ左傳一其從姑

○オサ

酋

多クノ中ニテヌケ出タルヲ云正字通一長鬚夷魁師

之稱

長

頭分ニシテタツトムヲ云國策君一齊奚以薛為

○オシ

瘖

言語ノ出サルナリ史記雖有舜禹之吟而不言不如一

啞之指麾也

啞

言語ノ通セサルヲ云國策吞炭為一變其音

○オ

雄

鳥ノオナリサレ凡汎クカリ用ユ詩經誰知鳥之雌一

牝

獸ノオナリコレモ汎クカリ用ユ全上雉雛求其一

○オトリ

媒

向ノモノヲヨビ出スナリ文中子見譽而喜者佞之一

也

詩文須知寶卷

四 此方ヨリ設ヲクモノヲ云說文率鳥者繫生鳥以來之

名曰一

○オニ

鬼 ヲウレイノフナリ詩經為一為域

魘 オソハル、モノヲ云ハノ部二出

魅 ハカスモノヲ云同上

魔 サハリニナルモノヲ云同上

○オモテ

面 顔ノ真正面ナリ孟子一深墨

臉 顔ノ側ヲ云唐詩芙蓉當一兩邊開

○オトカイ

額 オトガイノエリニツミキタル所ヲ云左傳逆于門者

一之而已

頤 頤ヨリノトヘカケテノ所ヲ云韓詩我手承一時拄座

腮 オトカイヨリ頤ノ所ヲ云坡詩紫符穿一氣慘悽

頤 口ヨリ下ヲサシテ云蒙求匡說詩解人一

○オ

翹 別ニ上エヌケ出タル尾ヲ云說文一尾長毛也

尾 末ニアリテタレタルモノヲ云易經狐濡其一

○オヒ

紳 儀式ニ用ユルカザリナリ論語子張書諸一

帶 身ヲトリシメルモノナリ禮記几一有率無箴切

紱 前ヲオホフカサリナリ易經朱一方來

鞞 紱ト同シ禮儀ノトキノ名ナリ儀禮素一玄端

釋文類聚

十二

綬 印ナトニ付タルヒホナリ字典一受也所以承受印環也

也

佩 身ニトリツケテ下ルヲ云左傳一哀之旗也

縞 紫青色ノオヒナリ史記東郭先生佩青一

口類

○ワレ

吾 手前ト云心持ナリ我ヨリハ高フリタル意左傳我張

一三軍而被一甲兵

我 此方ト云心持ナリ見上

朕 天子ノ御自稱ナリ書經一宅帝位七十載

予 自分ヲサシテ云ナリ論語起一者高也

余 他人ヨリ承テヲトナシキ意ナリ爾雅一我也

言 古ヘコレヲ用ユ詩經ニ多シ未考詩經一告師氏傳一

我也

身 後世心ヤスキ間ニ用ユ爾雅一我也疏一自謂也

僕 身ノ卑キヲ鄙下シテ云詞ナリ正字通自稱為一卑稱

也

走 義上ニ同シサシテ差別ナシ文選一亦不任厠枝抄彼

列

儂 俗語ニ用ユ正文ニハ用ヒス韓詩鱷魚大于船牙眼怖

殺一

蒙 不調法ナルヲ鄙下スルナリ文選一竊惑焉

愚 其義上ニ同シ

俺 方言ナリ其義未考字典凡稱我曰一俗音也

言部 言部 言部

○ワキ

脇 體ニツキタル所ヲ云國語重耳過曹聞其駢一欲觀其狀

肋 アハラ骨ナリ字典一脊骨

腋 兩ワキヘ分レタルヲ云史記千羊之皮不如一狐之一

肘 兩方ヘヒラク所ヲ云韻會旁開為一

挾 左右ヘワキハサム一ナリ孟子故王之不王非挾泰山

以超北海之類

脗 ワキノ下ナリ博雅一謂之脗

○ワタ

綿 アトヘツバク心持ナリ楚詞秦箏齊縷鄭一絡些

絮 キレチキル心持ナリ説文一敝綿也

續 新ニメ細ヤカナルヲ云左傳三軍之士皆如狹

紕 上ト同義ナリ莊子世世以泝澣一為事

○ワラダツ

屣 ワラ艸履ナリ孟子猶棄敝

鞮 サツトシタルクツナリ因テ艸一ト云ワラクツノ一

ニ非ス釋名一縮其上易舒解也

カ類

○カセ

風 氣ノ物ヲ化スルヲ云莊子大塊噫氣其名為一

颼 空フク涼シキ風ヲ云選詩出宿薄京畿晨裝博層一

颼 四方ヨリ吹海上ノ大風ナリ韓詩一起最可畏

○カキ

釋名一風ノ聲也

垣 一面ニ結マハシタルヲ云左傳盡壞其館之_一而納車

馬焉

藩 用心ニナル程ノ_一易經羝羊觸_一

堵 高墀ナリ禮記觀者如_一墻

牆 ○築地ニシタルモノヲ云詩經兄弟鬩于_一外禦其侮_一

樊 シキリヲシタルヲ云同上折柳_一圃狂夫瞿瞿_一

堡 丈夫ナル要害ヲ云唐書歌舒翰傳拔連城堡_一轉音普

墉 城郭カマエナリ易經乘其_一弗克攻吉

陴 ヒクキカキヲ云說文_一城上女牆俛倪也

屏 ○目カクシニスルナリ韻府羊元所居山峰奇秀曰此翠

障 寄リツキニクキヲ云國語卿為保_一乎曰保_一哉

柵 抗ヲ打ナラヘタルヲ云集韻_一編竹木為落也

堞 取マハシタルカキナリ左傳崔氏_一其宮而守之

宇 待合ノ所ノ目カクシナリ禮記天子當_一而立_一

○カト

門 兩開キノ門口ナリ玉篇_一人所出入也

閭 在郷町方ナトノ入口ニアアル木戸ヲ云國策齊桓公宮

中女市女_一七百

闔 市場ノ入口ナリ文選通闔_一

閭 問ヨリ又小キ門ナリ同上問_一且千

闈 堂ノ側ニアアル小キ門ヲ云禮記夫人至入自_一門

閤 用心ニ設タル小門ナリ左傳高其_一閤

閤 未考

釋文類編

闔 馬出シナリ詩經出其闔

闔 板ウチノ門ナリ漢書樊噲排入見

闔 アケ土門ナリ見上

○カベ

壁 土ヲ以テ丈夫ニ堅タル書經我先人用藏其家書于

屋

甬 壁ノ間ヲ往來スルナリ史記注道恐敵鈔輜重故築

牆垣如街

○カマト

竈 火ニテ食物ヲタ久場所ヲ云論語與其媚於奧寧媚於

灶 竈ト同シナリ字典俗竈子

窰 瓦茶碗ナトノカマナリ唐詩九秋風露越一開窰得千

峰翠色來

突 ○カマトノ烟タシナリ韓文孔席不煖墨一不黔

○カハヤ

廁 雪隠ナリ史記沛公起如

圜 不淨ナルモノヲ受ル場所ヲ云字典音清說文廁清

溷 穢ラハシキ所ナリ玉篇圜一也雜也

○カケハシ

梯 ハシコナリハノ部ニ出

階 段ハシコナリ玉篇登堂道也級也

棧 山ヲ横ツタヒスル小道ナリ史記說漢王燒殘道

墜 坂ノ如キ段アルヲ云廣韻梯集韻同墜墜

釋文類聚

○カハ

河 餘ホトノ水ナリ詩經關々鳴鳩在之洲
川 水ノ流ル、ヲ云同上如一方至

○カミ

神 天ニ属スル陽ノ神ナリ史說夜半前席問鬼神之本
靈 神体ヲサシテ云詩經濯々厥

祇 地ニ属スル陰ノ神ナリ韻府一地神提出万物者也

精 真氣ノコリタルヲ云左傳用物一多則魂魄強是以有
一爽至于神明

○カタチ

形 ナリ姿ヲ云莊子吾身非吾有也天地之委一也
容 品アヒノ一ナリ易經治一誨淫

止

形義作法ノ一詩經人而無一其人美且

儀 急度シタルソナヘナリ詩經淑人君子其一不忒

質 本體ヲサシテ云易經原始要終以為一也

象 アラハレ出タル一ナリ易經一也者像此者

狀 様子ヲサシテ云易經知鬼神之情一

貌 表向ノ見コミヲ云論語正容一斯遠暴慢矣

像 アラハレ出タルヲウツスナリ見上

○カシラ

頭 別段ニタカク出タル心持ナリ釋名一獨也于體高而

獨也

首 スベテ咽ヨリ上ヲ云易經見群龍无首

魁 體ニ付タル大ナルモノヲ云禮記不為一

華文類聚

計七

詩文須知實錄卷二

顛 カシラノ首スデニ付タル所ヲ云漢書頭一相属于道

髑 顛中ノ骨ナリ莊子莊子之楚見空髑體

體 顛中ノ骨ナリ見上

元 身體ノハシマリヲ云孟子勇士不忘喪其

頤 アタマノサラナリ正字通一俗謂腦盖骨也

○カミ

髮 頭上ニアリテタレル毛ヲ云詩經一則有旒

髻 小兒ノ頂ニノコシアル髮ナリ玉篇一小兒髮

髻 格別ニ毛ノ多キナリ儀禮主人説一

鬢 沢山ニメ黒キカミナリ左傳有仍氏生女一黒而美

鬢 タレ下リタルナリ詩經一彼兩髦

鬢 髮ノマキ上ケタルナリ同上其人美且一

○カフ口

秃 頭上ニ髮ナキ一韓文頭一齒豁

髡 ○カワザト髮ヲキリタルヲ云漢書一鉗為城且春

兀 髮ノハゲタルナリ杜詩蜀山一阿房出

○カタ

肩 肩ヨリ臂マデノ間ナリ左傳鄭子駟請息一於晋

髑 肩サキノ骨ト骨トノ間ナリ詩經註自左腰而射之達

于右一

膊 未考儀禮不升肩臂臑一骼

○カユ

粥 米粒ノ和カニナリタルナリ禮記仲秋行糜一飲食

糜 米ノ形ナクナリタルナリ見上

釋文須知實錄卷二

饘 濃キカユナリ左傳晉囚衛侯甯俞職納一焉

糝 引ハリノカユナリ博雅一饘也

糝 方言ナリ字典涼州謂粥為糝亦作一

糝 米ノニヘテカルクナルヲ云博雅一饘也

飡 饘ト聲近ノ轉セシナリ孟子一粥之食自天子達於庶

人

饘 ヤハリ饘ト同シ正字通一同饘

飡 粥ノ上湯ナリ禮記饘一注饘厚粥一薄粥

飡 子ハリアルカユナリ左傳饘于是鬻于是以一余口

○カウシ

麴 花ノ上リタルヲ云書經若作酒醴爾惟一麴

麴 酒ノモトナリ見上

○カレイ

餉 食モノヲハコフナリ書經葛伯仇一

餉 食モノヲ揃テヲクルナリ詩經一彼南畝

饋 フクリツケテモトルナリ周禮注進食于尊曰一

饗 餉ト聲近ノ轉セシナリ詩經其一伊黍

饗 食モノヲ持ハコブナリ左傳注一運糧餽之

犒 挨拶ニオクル一左傳使展喜一師

○カシヨ子

浙 米ヲ水ニツケタルヲ云廣韻一浙米也

糲 米ヲトグ一ナリ詩經一之粳粳

饋 タキウヘシタル飯ナリ詩經挹彼注茲可以饋一

○カヒ

釋文頁五實卷三

醜

カヒノシロクナリタルナリ正字通一酒上白也

黴

カヒノウキ上リタルヲ云説文一物中久雨青黒

○カリヨ子

糴

米ヲトリコムナリ左傳臧孫辰告一于齊

○カシヨ子

糶

米ヲ出シ捌クナリ史記一二十病農九十病末

○カチ

柁

舟ヲマンロクニスルヲ云楚詞漁父莞爾而笑鼓一而

去

檣

前ヘヲスナリ韻會前推曰一

柁

舟ヲヒキマハスモノナリ玉篇正船水也設於船尾

楫

舟ノハヤク動クモノナリ書經若濟巨川用汝作舟一

○カイ

撓

自由ニ舟ヲツコフナリ後漢書裴直進樓船冒突露一

數千艘

榜

舟ヲ向ヘ進メヤル一ナリ楚詞齊吳一以擊汰

柁

老人ノ杖ナリ舟ノカイニ非ス五代史王峻奉表契丹

耶律賜一木一

擢

後ヘヒクナリ韻會後拽曰一

○カバリ

篝

中ニツリタルカバリナリ史記夜一火狐鳴

燎

庭ノカバリ火ナリ詩經庭一之光

炬

タイマツナリ正字通一東葦燒之

○カミ

釋文頁如實卷三

摺 紙ノ本體ナリ字典一擣以為紙

箋 製シタル小紙ヲサシテ云韻府唐蜀妓薛濤好製小詩

惜紙幅大乃狹小之

紙 仕立上タルナリ釋名一砥也平如砥也

○カハ

皮 上ニカブリタルモノヲ云左傳一之不存毛將安傅

革 ナノサザルカハナリ正字通皮生曰一熟曰韋

韋 ヤハラカナル皮ナリ見上

○カ子

金 スベテ通称ナリ書經一曰從革注一可以改更

鏐 紫色ノ金ナリ爾雅黃金謂之盪其美者謂之一註紫磨金

鈇 平ニノシタル金ナリ爾雅銚金謂之一

銅 刃金ナリ列子鍊一赤刃用之切玉如切泥焉

鋤 黃金ニ似タル金ナリ玉篇一石似金

鏹 銀ノ上品ナリ爾雅白金謂之銀其美者謂之一

銀 白金ナリ見上

銅 赤金ナリ漢書凡律度量用一者取其至精

鐵 黒金ナリ史記邯鄲郭縱以冶一成業

鉛 ナマリナリ書經一松怪石

錫 ス、ナリ詩經如金如一傳金一練而精

鑛 アラカ子ナリ文選精練藏於一朴

銃 ツヤノヨキ金ナリ說文一金之澤者

○カマ

鎌 一樣ニ物ヲナデ切ニスルヲ云列子擁一帶索

釋文類聚卷三

三

銚 短カキカマナリホヲカルニ用ユ詩經奄觀一艾

艾 コンバサミナリ見上

鏝 両双ノカマ艸ヲカルニ用ユ說文一ノ名木柄可以刈

草

○カタビラ

衫 布ノ衣ナリ唐詩江州司馬青一濕

帷 幕ノ一ヲ云トノ部ニ見ユ

禪 單ノモノナリ禮記一為網註有衣裳而無裏

絺 ホソキ布ナリ正字通凡麻葛織成之細者曰一麤曰綌

綌 アラキ布ナリ見上

○カサ子

襲 上ニ着セルヲ云禮記裘之裼也見美也服之也充美

也

襯 下ニ着タルヲ云同上注取名于一一近尸也

複 二重ナリ釋名衣服有裏曰一

○カテ

糲 飯米ナリ詩經以峙其一禮記五十異一

糧 日用ノ食物ナリ莊子適百里者宿春一適千里者三月

聚

糗 用意ノ食物ナリ詩經乃裹一糧

糗 神ヲ祭ルモノヲ云楚辭懷椒一而要之

○カス

糟 少シ汁氣ノアルヲ云釋名酒滓曰一

粕 シホリカスナリ莊子古人之糟一注已漉麴糟也

釋文須知實卷三

滓

魚シカスナリ周禮注醴猶體也成而汁一相將

渣

正味ナクカラニナリタルヲ云字典一俗以此為一滓

字

○カウムリ

冠

首ヲカサルモノヲ云左傳君子死一不免

冕

玉ノ冠リナリ論語惡衣服而致美乎蔽一

弁

皮ノ冠ナリ詩經會一如星又突而一兮

幘

髮ヲツ、ムヲ云說文髮有巾曰一

帽

首ニカフリタルヲ云唐書烏紗一者視事及燕見賓客

之服也

幘

首ヲツ、ムヲ云廣韻一頭裁幅巾出四脚

撮

黒キ布ノ冠リナリ詩經臺笠緇一

冔

殷ノ冠リナリ儀禮周弁殷一冔收

被

首ニカツタナリ詩經一之僮僮夙夜在公詩中林八

收

夏ノ冠ナリ見上

○カンサシ

笄

横ハリタルカウカイナリ史記其姊磨一自殺

鈿

金或ハ翠羽ヲ用テカサリタルヲ云六書金華為飾

釧

臂ノカサリナリ說文一臂環也

櫛

髮ヲワロヘルモノナリ詰經佩其象一註一以摘髮象

骨為之

簪

冠ニツラヌクヲ云釋名簪梳也連冠于髮也

釵

琴柱ノカンサシナリ韻府日林國獻龍角一帝賜獨孤

妃後為二龍

墨文頁知實卷三

筵 小キサシクヘナリ文選注一竹算

玳 カサリニツタルモノフ云詩經副筭六一

○カフト

冑 頭ニイタ、ク一初學首鎧謂之、一整

甗 頭ヲマトイタルヲ云説文一整首鎧也

鑿 鉢ヲサシテ云書經注曹甗一也

○カゴ

籠 中へ藏ルフ云莊子以天下為之一則雀無所逃

籩 大ナルカコナリ漢書遺子滿一不如一經

筥 小キカコナリ論語斗一之人何足算也

笈 舟底ニアルアカヲモラスモノナリ釋名舟中牀以薦者曰一

籃 目ノスキタルナリ坡詩筠一擷翠瓜甲香

筥 物ヲ一ツニ納ル大ナルカコナリ字典笈一筥籠

簞 モノ、乾クヤウニシタル云論語一一食一瓢飲

○カノ

甕 大カノナリ易經井谷射鮒一敝漏

瓶 水ヲタクワエルカノナリ坡詩小杓分江入夜一

甌 藥カケタルナリ文選傾縹一以酌醪

甌 小ノ底深キヲ云韻府碧玉一中素濤起

甌 一石入りノカノナリ蒙求家無一石之儲

甌 匏ノ如ク耳アリ茶瓶ニ似タルモノナリ漢書韓信以

木一度軍

甌 甌ヨリ小キ器ナリ禮記君尊瓦一

華文類聚

三十四

甌 口ノ小キカメナリ 正字通 小口甌

瓿 シホモノヲ入ルカメナリ 漢書 覆醬

○カサ

傘 カラカサナリ 字典 禦雨蔽日 可以卷舒者

笠 著カサナリ 詩經 何蓑何 傳 所以禦暑

簦 長柄ノカサナリ 史記 虞卿躡蹻擔 說趙孝成王

箬 竹ノコカサナリ 說文 楚謂竹皮曰

蓋 衣カサノ長柄ナリ 周禮 輪人為 以象天崇十尺

暈 日月ノクモリナリ 釋名 捲也 氣在外捲結之也 日月

俱然

緇 糸ナトニテカザル傘鉞ナリ 又傘モ通用ス 廣韻 緇

絲綫為蓋

○カキ

管 カキノ元ノ所ヲサス 禮記 修鍵閉慎 齋

鍵 カキノ先ノ所ヲサス 周禮 司門投管

鑰 正己シヤウノナリ 國策 齊君之魯 魯人投其 不果

内

鋌 耳カキノ形ノカキナリ 正字通 所以啓鑰者

匙 上ト同字ナリ

鈐 錠前ナリ 爾雅 序六經之一 鍵

鑰 箱ニサシコムシマリナリ 莊子 固扃

鈎 引カケ出スカキナリ 玉篇 鐵曲也

○カハラ

瓦 屋根ノカハラナリ 禮記 毀方而合

畢文頁 口字 畢文頁 口字 畢文頁 口字

甍

シキ瓦ナリ詩經中唐有

甍

下シキニツカフ瓦ナリ漢書譬猶高屋之上建水也

甍

水道ニツカフ瓦ナリ正字通甍一甍也

甍

花頭瓦ノ一正字通甍一燒擊也

○カカミ

鏡

面テヲテラスラ云說文一取景之器也

鑑

物ヲ照ラシ見ルヲ云左傳王以后之鑿予之

○カナヘ

鼎

三足ノ釜ナリ詩經萬鼎及

鉶

羹ヲタタ器ナリ儀禮宰夫設

鬴

大ナル鼎ナリ見上

萬

小キ鼎ナリ見上

鐻

麤末ナルナベナリ阿房宮賦鼎一玉石

○カマ

釜

足ナキヲ云詩經維錡及

錡

足アルヲ云見上

鑊

大ニノ足ナキヲ云周禮掌共鼎

○カ子

鐘

通例ノツリカ子ナリ文選發鯨音鏗華

鑄

樂器ニ用ル大ナルカ子ナリ詩經笙一以間

○カラ

幹

心柱ナリ詩經注作楨一以正之也

柄

取マハシ所ヲサシテ云周禮注盧戈戟

柯

手ニ取ルヲ云詩經執一伐一其則不遠

○カセ

枷 項ニ加ヘル木ナリ廣韻一項械也

械 スベテ人ヲイマシメルモノナリ字典一者戒也戒止

人不得遊行也

桎 足ニ入ルカセナリ孟子一桎而死者非正命也

拮 手ニ入ルカセナリモト牛ノ鼻木ナリ易經用說桎一

鎖 クサリヲ以テツナキタル一ナリ漢書以鐵一琅當其

頸

扭 手ノ自由ナラヌ様ニシタルヲ云字典一械也本作持

校 木ヲ連子合セタルヲ云易經履一滅趾

桁 大ナル足カセナリ莊子一揚相推刑獄相望

○カトリ

繒 格別ニヨキキヌナリ漢書睢陽販一者

綺 モヨフアルヨキ絹ナリ文選餘霞故如一

紈 ツヤヨク薄ク細ナルキヌナリ同上一扇如圓月出自

機中素

縑 通例ヨリ倍ヨキ細キ地ヲ云韻府一并縑繒也

○カイコ

繭 カイコノマユナリ禮記世婦卒蠶奉一以示于君

蠶 同上俗字ナリ

蠶 カイコノ蟲ヲカフナリ韻會一繅蟲也

蛾 カイコノ蝶ナリ同上一似黃蝶而小其眉句曲如畫

羅漢書卷之三

譯文須知卷之二終

譯文須知卷之三

愚山松本先生解詁



實字部

門人近江 鷓飼良輔校訂

ヨ類

ヨル

宵 夜ノフケルヲ云詩經一爾索綯

夜 晝ニ非ルナリ左傳臣ト其晝未ト其一ヲ

更 夜一時ノ番カハリ文選衛以嚴一之署

○ヨ

世 ツキノヲ云論語有王者必一而後仁

代 入りカハリニナルヲ云家語古之王者易代改號取法

五行

○ヨロイ

介 惣体ノ身ノ固ノナリ禮記一曾則有不可犯之色

鎧 具足ノナリ管子蚩尤受而制之以為劍

甲 身ニ着用スルヲヤシテ云書經惟一曾起戎

函 胴丸ノヨロヒナリ孟子矢人豈不仁於一人哉

○ヨタレ

涎 長クツ、キタルナリ杜詩道逢麴車口流

沫 細ク分レタルナリ莊子乾餘骨之一為斯彌

漿 精氣ノ出ルヲ云國語卜請其一而藏之

液 汁氣ノ出ルヲ云說文一盡氣一也

唾 吐キ出シタルヲ云ツハキナリ禮記讓食不

ク類

○タナ

谿 地ノコウハイノアリテ水ノ注クヲ云韻府山瀆無

所通者

澗 山ノ間ヲ水ノ流ルナリ詩經于一之中

谷 自然ト物ノオチコム處ヲ云爾雅水注谿曰

壑 クワラリト打開キタル場所ナリ文選谿一錯繆盤紆

畎 田地ノ矮キ所ナリ國語或在一畝注下曰一高曰畝

名 打クボミタル所ナリ說文一小阱也

○タナ

棚 下ニ坐ヲシツライタル文選避暑結松

架 モノヲモタセヲクヲ云爾雅疏凡以竿為衣一者多箴

閣 二重タナナリ韓詩春秋三傳東高俗ニイフタナ

詩文類

上ケヲクナリ一筆モ筆ヲトラズシテタナヘトリオ
クニ

○タキ

瀑 打アタル水ナリ 文選 一布飛流以界道

瀧 ウ子リノアル水ナリ 韻會 一奔湍也

湍 タキリテナカル、ヲ云 孟子 性猶一水也

○タマリ水

潢 池ト云ホトノ水ヲ云 左傳 一汙行潦之水

潦 水本ノナキ水ナリ 孟子 河海之於行一

涪 窪タマリニ水アルヲ云 淮南子 牛蹄之一

汪 水ヲ澤山ニタ、ヘタルナリ 左傳 尸諸周氏之一

渟 水ノ井ツキタルナリ 史記 決一水致之海

瀦 用意ニタクハヘタルナリ 周禮 稍人以一畜水

溜 水ヲセキ留タルナリ 文選 醴泉涌一于陰渠

汙 ヨトム水ヲ云 詩經 田卒一萊

瀦 急ニタマリタルナリ 文選 渭濱淪而一潔

○タカトノ

樓 二階ツクリノ物見ナリ 唐詩 欲窮千里目更上一層一

殿 椽アリ階アル堂ヲ云 初學記 一大堂也

闕 前ノ廣々トシタル御殿ナリ 釋名 一在門兩旁中央一
然為道也

閣 二重ヤ子ノ建物ナリ 唐詩 金殿堂頭一一重

堂 高ク大キウ見ルモノヲ云 說文 正寢曰一

○タルキ

椽 端へ出タルカサリナリ漢書茅屋采一左傳為廬門之

一註圓曰一方曰椽

棟 齊魯ノ人ノ語ナリ左傳刻宮一

椽 周人ノ語ナリ文選飾華一與璧璫

椽 カサリニシタルヲ云楚詞桂棟兮蘭一

○タミ

氓 文盲愚痴ナルモノヲ云詩經一之蚩蚩抱布買絲孟子

願為之一

民 スヘテ汎ク人物ノヲ云書經一可近也不可下也

黎 賤シクシ冠ナトヲ著サルホトノモノヲ云詩經郡一

百姓

農 百姓ヲ指シテ云韻府馮道云穀貴傷民穀賤傷一

隸 人ノ下ニツクモノヲ云左傳士臣阜阜臣一

佃 田畑ヲ代リテ作ル人ナリ字典一代耕農也

甸 佃ト同シ字ナリ字典一象甸甸耕農形

タクミ

工 職人ノ一ナリ周禮國有六職百一與居一焉

匠 職人ノ頭取ナリ孟子梓一輪輿

巧 上手ナルヲ云老子大一若拙

技 藝能ノアルヲ云禮記疏指其人巧謂之奇一

○タマシイ

神 思案ノ出ル所ナリ韻府魏荀粲妻亡不哭而一傷

靈 通カ自在ナルヲナリ詩經濯々厥一

塊 氣ノ散シテユクヲ云禮記一氣則無不之也

釋文類聚

田

魄 タマシイノ止ルヲ云白虎通一猶迫也迫著于人也

精 氣ノコリカタマリタルナリ賢臣頌聚一會神

○タマ

珠 玉ノ精ヲサシテ云莊子一在驪龍領下子遭其睡也

玉 光澤ノアルヲサシテ云老子衣褐懷一

璧 形ヲコシラヘタル也左傳匹夫無罪懷一其罪

圭 三角ニ上ノ尖リタルナリ詩經白一之玷尚可磨也

璋 圭ノ片破ヲ云韻府剡上曰圭半圭曰一

瓊 赤色ノ玉ナリ詩經報之以一瑤

玖 黑色ノ玉ナリ詩經報之以一瓊

琄 瑪瑙ナトノ類ナリ書經厥貢一琄條蕩

琬 ムツクリトシタル玉ナリ周禮一圭以治德結好

瑞 シルシニ用ユル玉ナリ書經輯五

瑜 玉ノ美ナルヲ云禮記瑕不掩一左傳瑾一匿瑕

琰 キラクトシタル玉ナリ周禮一圭以易行以除慝

琚 佩玉中ノウコカヌモノヲ云詩經報之以一瓊

琮 八角ノ玉ナリ周禮黃一以禮地

璜 璧ノ半分ナルヲ云韻府佩有二一作牙形於其中以前

銜之

珩 佩上ノ玉ニテ行歩ヲ止ルヲ云詩經有璜一

球 丸キ形ニシテ如キヲ云書經天一河圖渾天儀ノ類

ナルヘシ

瑩 極ノテ光リカ、ヤクタマヲ云詩經充耳琇一

瑾 ヨキ玉ヲ云楚辭懷一握瑜

詩文類考卷三

三十一

瑰 圓カナル一カタマリノ玉ナリ左傳何以贈之瓊一玉

佩

珙 兩手ニ一ハイホトノ玉ナリ老子一如亨一璧拱ト通

詩經ニ大拱ナトハ拱ニ作ルヲ後玉ニ从ヒシナリ

琛 珍ト同意ナリ詩經來獻其

○クカラ

寶 子孫ヘツタヘル心持ナリ大學楚國無以為一惟善以

為一

貨 交易ニ用ユル品ナリ書經不貴難得之一

財 用ニ立ツタカラナリ大學生一有大道

貲 直打ニアタルモノヲ云史記民不繇者一錢二十二

珍 大切ナモノニ思フ漢書單于願奉國一朝貢

寶 夷ニ用ユルタカラナリ說文一南蠻賦也

贐 旅立ノ見立ニオクルヲ云孟子行者必以一

賄 諸色ヲサシテ云詩經以我一遷

賂 内証ニテ音信ニオクルヲ云ナリ正字通有所屬而私

遺之與有所脅而後遺之謂之一

資 入用ナル品ヲ云史記張良不愛万金之一為韓報讐

通用ノヨキモノヲ云詩經抱一賀絲

賄 香奠ニオクルヲ云穀梁歸死者曰一歸生者曰賄

贖 全ク錢財ヲオクルナリ左傳武氏之子來求一

幣 進物ノ一孟子恭敬一之未將者

鈔 銀札ノ一正字通一楮貨名

○タテ

譯文類考卷三

三十一

盾 目ヲフセクヲ云左傳虞人以鉞一夾之ヲ

干 矢ヲフセクヲ云詩經一戈戚揚

敵 矢ヲサ、ヘルナリ方言盾自関而東或謂之

○タル

尊 スヘオキテ酌ムナリ禮記汙一而杯飲ス

榼 覆アル器ナリ左傳行人執一羹飲

柈 圓キ形ナリ說文一園榼也

○タウイ

盤 洗手鉢ノ如クスヘテツコフモノ大學湯之一銘曰

匱 水サシノ一左傳盥則奉一說文注盥器柄中有道可以

注水似羹魁

盥 洗手ニツコフ器ナリ易經觀一不薦

洗 手洗ツカフ場所ナリ儀禮設一直東榮

○タマコ

蛋 鳥ノタマコナリ字彙補俗呼鳥卵為一

ソ類

○ソラ

空 形相ノ見ヘサルナリ唐詩孤帆遠影碧一盡

穹 上ヘ高キ心持ナリ爾雅一蒼蒼天也注天形一隆

虎 物ナキ所ヲ云ナリ韻府李白獵賦落鴻雁於紫一

天 萬物ノハシマル本ヲサシテ云書經一地惟萬物之父

母

霄 天ノ形ヲサシテ云文選騰清一而軼浮六

旻 ハツキリトシタルヲラナリ孟子號泣一天子父母

釋文類

詩經 卷三

龍堪同

上ヨリカワセタルヲ云韻府茫茫カ一輿

宇

上ニイタ、クヲ云蘭亭記仰觀カ一宙之大

○ツノ

苑

草木ノ繁リタルナリ漢書故秦一園園池令民得由之

園

庭カタチニツクルヲ云詩經注一者圃之藩其内可樹

木也

圃

ハタケナリ詩經折柳樊カ一狂夫瞿々

圃

禽獸ヲ養ヒオク場所ナリ孟子文王之カ一方百里寡人

之カ一方四十里

ツ類

○ツツミ

土ニ从ツト阜ニ从フト多ク通用ス

坊防同

要害ニモウケタルヲ云ナリ禮記以舊カ一為無所用而

壊之必有水敗

塙

土手ノ上ニ人ノ住居スルヲ云正字通土可宅居曰カ

坵

上ニ同シ畧字ナリ或ハ坵ニモ作レリ

堤

スヘテ土手ヲ云爾雅塹土過水曰カ

陂

池ノ回リヲ取マハシタル土手ヲ云書經九澤既カ

塘

水ヌキノアルツ、ミヲ云文選池カ一立春草

坡

坡同

地形ノ一方低キナリ韻會饒宅上カ一却須下カ

阪

坂同

山ソヒニアルヲ云字典カ一曰澤障カ一曰山脅

埤

小サキ水ヨケナリ字典カ一水隄也

墳

大ナルツ、ミナリ詩經カ一彼汝カ一言代條枚カ

○ツカ

藩

ツカノ土臺ヲ云孟子之東郭カ一閭祭者乞其餘カ

釋文類

塚 一里ツカナリ正字通封土為臺以記里也

冢 〇〇高頂ヲサシテ云詩經山一萃崩

墳 土ヲ盛り上タルナリ禮記古者墓而不

塋 ハカノ域ナリ唐詩北邙山下列墳

壙 ハカノ穴ナリ禮記弔于葬者必執引若從柩及一皆執

紼

垠 方言ナリ壙ト同シ博雅壙一冢也

〇ツ子

土 萬物ノ生スル場所ナリ家語其猶一子汨之深則出泉

樹其壤則百穀滋焉草木殖焉禽獸育焉

壤 分レタル土ナリ書經注無塊曰一土

埴 カタノタル土ナリ老子埴一以為器

地 〇〇萬物ヲ養モノヲサシテ云書經天一惟萬物之父母

塊 土ノカタマリナリ國語之食於野人野人與之一

〇ツト

夙 夜ヲコノタルヲ云詩經一_二起夜寐以事一人_一

〇ツバサ

翰 用ニタツ心持ナリ揚子鳳鳴而鷲

翎 身ノツカヒモノニスルヲ云坡詩病鶴不抗

翼 身ノタスケニナル一易經朋夷于飛垂其

翅 身ニツキタルナリ漢書幡比一回集

翮 羽ノツキタルキワヲ云尔雅羽本謂之一

子類

ナ類

畢校類

○ナミ

波 水ノカタムキテ倒レカ、ルナリ楚詞洞庭一兮水葉下

浪 水ノ方々ヘユラレルヲ云字典水激石遇風則

瀾 大ナルウ子リ孟子觀水有術必觀其

濤 ナミノツキカケルナリ文選激逸勢以前驅乃鼓怒而

作ス

漪 小ナルウ子リナリ柳詩寒藻舞淪

淪 一筋ツ、ヨセル波ナリ尔雅小波為直波為徑

徑 立ナミナリ例用見上

漣 水ノセ、ラクヲ云詩經河水清且漣

○ナミタ

泣 聲ナクシテ出ル涙ナリ禮記血三年

涕 夕ヘス出ルナミタナリ孟子出而女扮吳

淚 目ヨリ出ル汁ナリ三體詩巫峽啼猿數行

泗 鼻ヨリ出ル汁ナリ詩經涕泗滂沱

涕 鼻ヨリ出ル涙ナリ易經齋咨涕

○ナ

聲 評判ノマルヲ云史記君子交絶不出惡

名 名前ノアルヲ云世説補有身後不如即時一杯酒

題 見コミノ所ヲ云杜詩天老看目

目 品ヲ分ルヲ云見上

號 目シルシノ付クナリ韻府吾不能富貴窃仁人

籤 答同小口トリヲスル説文一驗也

釋文類聚

○ナシチ

卿 モト君ノ臣下ニ仰ラル詞ニ目下ニ用ユ韻會君呼臣以

汝 賤シノタル詞ナリ書經予欲左右有民一翼

爾 心安キ詞ナリ書經肆予以一衆士奉辭代罪

戎 未考方言ナリ詩經一雖小子

乃 緩ヤカナル詞ナリ書經惟乃之休注乃猶汝也

若 コナタト云心持ナリ史記吾與一北面事懷王

而 ソナタト云心持ナリ書經而康一色

子 親シム詞ナリ論語一亦有異聞也

○ナワ 互チカヒニ用ユルナワナリ莊子一短者不可以汲深

纒 引ツケオクモノヲ云詩經汎汎揚舟緝一維之

縲 縛同ヨリノ格別ニカ、リタルナリ禮記助葬必執一

繩 ヨリツキタルナリ書經木從一則正

縲 ツ、キテハナレヌヲ云論語雖在_一緝之中_二非其罪也

紉 子チラシタルナリ楚辭一秋蘭以為佩

纏 両スヂヨリナリ易經係用徽一

緝 ツナキトメルナリ見上

維 丈夫ナル繩ナリ韻府梁有高_一伎謂_下兩女對舞大繩上

相逐比肩不傾

索 サツトシタルヲ云書經如朽_一之馭_六馬

緝 打ヒホナリ詩經竹閉_一滕

縲 長タツ、キタルナワナリ禮記犬則執_一

縲

釋文

徽 三ツウチノ繩ナリ易經注三股曰

○ナヘ

鍋 ウスナヘナリ正字通俗謂釜為

錡 足ツキノナヘナリ左傳筐筥釜之器

鎗 三足ノナヘナリ正字通三足黼俗作鎗

鍔 其義未考玉篇燒器

ラ類

ム類

○ムマヤ

閑 馬ノ自由ナラヌ様ニスル仕切ナリ左傳每廐為一

廐 馬ヲカイオク所ナリ論語一焚

廐 馬ヲアツノオク所ナリ詩經乘馬在

驛 馬ヲツク場所ナリ增韻今之遞馬又傳馬

郵 傳馬ヲ設タル家ナリ孟子速於置一而傳命

櫃 馬ヲツク場所ナリ世說老驥伏一志在千里

○ムラ

邨 田舎在所ヲ云坡詩家在江南黃葉

邑 大勢ヨリ集ル所ナリ左傳一有先君之廟曰都

落 才チツキ所ニスルヲ云綱目集覽人所聚落故謂之村

○ム子

胸 ムナサキナリ韻府酒以澆一中之磊塊

心 中ノ臟ヲサシテ云後漢書推赤一置人腹

膺 前ニアタル所ヲ云中庸拳拳服一而不失

釋文類編

臚 ムナサキノハタヘヲ云ハノ部ニ出

襟 心ノ中ナリ 韵府虚一聽納

臆 ム子ノ内ナリ 文選請以一對

隔 上部ト中部トノヘタテナリ 釋名一塞也管上下使氣

與穀不相亂也

懷 才モロ入レナリ 文選物我忘一

旨 指同 趣向ヲサシテ云同上 雖選言以簡童徒九復而遺一

○ムチ

策 竹ニテ作タルヲ云 禮記 君車將駕則僕執一立于馬前

鞭 革ニテ作タルヲ云 左傳 雖一之長不及馬腹

楸 木ニテ作タルヲ云 世說 禰衡揚抱為漁陽摻一

笞 細ク長キモノヲ云 漢書一者所以教之也

箠 シナヘルモノヲ云 史記 杖馬一 下趙數十城

○ムシロ

筵 シキナラヘタルヲ云 詩經 賓之初一 左右秩秩

席 織タテタルモノナリ 論語 一不正不坐

○ムナカヒ

鞅 腹ニカケタル處ヲ云 左傳 抽劔斷一

鞞 手ニトル處ヲ云 同上 我兩一將絶 吾能止之

靳 シソカリト固メタルナリ 同上 吾從子如駮之一

鞞 自由サセヌヲ云 禮記 注 羈以絡馬一 以控馬

鞞 背ニカケタル處ヲ云 左傳 一鞞鞅絆

繯 用心ヲスル心持ナリ 說文 一馬紐也

○ムツキ

釋文類編

襁 小兒ヲ脊負連雀ナリ 論語一負其子至

褓 小兒ヲカ、ヘルナリ 家語成王少在襁之中

褓 小兒ヲ引ツ、ムナリ 詩經載衣之一

ウ類

○ウミ

海 水底ノ知レヌ程ノ一 孟子觀一者難為水

洋 大海ノナタナリ 莊子望一向若而歎

瀛 遠方ノ海ヲサシテ云 史記乃有大一海環其外

滄 小シ黒キ心持ナリ 文選浩浩一溟

渤 海水ノ勢サカンナルヲ云 同上 築山擬蓬壺穿池類溟

漠 一面ニ分ラヌ一ヲ云 說文一北方流沙也

潮 北海ノ一ナリ 正字通一北海

溟 向ノ見ヘヌ一ナリ 韻府海水黒色曰一

○ウ子

塍 繩ヲ引テ土ヲ高クモリ上ルナリ 韻府一稻中畦塍

畦 カトヲタテル心持ナリ 正字通一場圃為小壟以樹莠

疇 スチミチヲ分ルヲ云 禮記糞田一

畛 小キサカイ目ヲ分ルナリ 詩經徂隰徂一

畹 ソレクニ仕切ルナリ 楚詞余既滋蘭之九一分

塢 一方ノ高キナリ 唐詩花一夕陽遲

畝 小ワリヲシタルナリ 詩經饁彼南一

時 神ヲ祭ル場所ナリ 漢書上初至雍郊見五一

畷 大ナルウ子ナリ 禮記饗農及郵表一注一田畔相連綴

釋文類編

處

町 マンロクニスルナリ左傳一原防注隄防間地不得方正如井田別為小頃也

○ウツハリ

梁 横ニ荷ヲモツナリ爾雅屋脊柱曰棟負棟曰梁大ナルウツハリナリ韓文注大木為一

○ウス

礎 スリツケルナリイノ部ニ出

春 クルクトマハスヲ云漢書水一河漕

碓 水クルマナリ正字通一今俗依水涯墮上流設水車轉輪与一身交激使自春

磨 スリツフスヲ云イノ部ニ出

臼 下ニ受ルナリ易經斷水為杵掘地為一

井類 見前

ノ類

○ノ

郊 城外ノ廣ミナリ周禮注五十里為近郊百里為遠郊

野 取ハナシタル場所ナリ唐詩過橋分一色

○ノキ

廡 サシカケナリ漢書陳賜金廊一下注一門屋也

宇 上ニオホフヲ云陶詞乃瞻衡一載欣載奔

軒 アカリノトレル處ナリ文選周一中天注周一長廊有窓而周廻者

簷 ノキノサキナリ杜詩寒日經一短

釋文類知實卷三

榮 サシ出タルヤ子ナリ儀禮設洗宜于東

○ノント

咽 津ヲ出ス所ヲ云正字通一者嚙水喉者喉氣

喉 ノトクヒナリ見上

胡 ノトノ下ノタフクトシタル一詩經狼跋其一注頷下

懸肉

龍 氣ノ通スルヲ云爾雅亢鳥一注謂鳥喉

吭 聲ノ出ル所ヲ云文選弄一清潔

頰 ノトノ骨佛ナリ韓文我手承一時拄座

嗑 飲食ノ通ル所ナリ穀梁一不容粒

○ノミ

杓 木ニホリ入ル、ヲ云史記持方一欲内圓鑿其能入乎

鏡 サキノスルトナルヲ云杜詩長一長一白木柄

鑿 タカ子ナリ説文一小鑿也

鑿 モノヲ以テホリコムナリ正字通一穴木器也銳口木

柄

○ノコギリ

鋸 解スルニ及ハス正字通一鐵葉為齧齧其齒一左一右

以片解木石也

才類 見前

夕類

○クニ

邦 見コミノ所ノ廣キナリ韻府羊比齊魯大一魚比邦昔

小國

國 ソレクニシキリタルヲ云禮記入一而問俗

郡 一ヶ國ツ、ナリ釋名一、群也人所群聚也

州 方角ヲ分タルヲ云文選春色滿皇一

洲 水ニソウタルシキリナリ詩經在河之洲

○クマ

阿 山ノスソマハリヲ云詩經菁菁者莪在彼中一

曲 入組ノ所ナリ全上彼汾一一言采其蕢

隈 水ト土トノ打アヒナリ說文一水曲也尔雅厓外為一

澳 水ノ入りコミタル所ヲ云詩經瞻彼淇一爾雅厓内為

郭 外クルワナリ左傳鄭人伐宋入其一韻府一城外小郭

○クルハ

字典小郭作大

郭 大グルワナリ釋名一廓也郭落在城外也

○クラ

廩 米グラナリ孟子君之倉一實府庫充有司莫以告

倉 本道ノ土藏ナリ見上

庫 道具グラナリ大學未有府一財非其財者也

府 役所ノクラナリ說文一文書藏也玉篇一藏貨也

藏 記録クラナリ字彙補一藏書之室也

困 米ヲ入ル納屋ヲ云國語一鹿空虚

藏 物入レナリ蘓賦造物者之無盡一也

窖 穴クラナリ禮記穿竇一注穿地隋曰一

竇 四角ナル穴グラナリ同上方曰一

○クレ

晚 夕方ナリ杜詩水花一色靜

暮 日ノクレナリ滕王閣序烟光凝而一山紫

夕 午時ヨリ後ヲ云陶詩山氣日一佳

昏 日ノ入りカ、ルナリ周禮注日入三刻為一

脯舖同 夕食ノ時分申刻ヲ云後漢書一時前水涌起十餘丈

曛 暮カ、リタルナリ歐詩山木含餘一

陰 クラクナリタルヲ云坡詩巉巖銷頑一

肝 日ノ夕ケタル一ナリ漢書天子一忘食

○クチハシ

嘴 細長キヲ云說文鳩奮頭上角一也

啄 前へ出タルナリ莊子有二三尺

角 クチハシノ尖ナリ詩經誰謂雀無一何以穿我屋

喙 ヒロククチバシヲサシテ云詩經維鷦在梁不濡其一

喙 マカリタル嘴ナリ史記注一謂大鳥之有鉤啄者

○クヒ

首 クヒノ上ノ方ヲ云左傳吾馬一欲東

頸 ノトニ付タル處俗ニ云首スレナリ史記百粵之君俛

首繫一

亢 ホソクヒナリ史記絶一而死

領 首ヲ自由ニツカフ所ヲ云文選素髮颯以垂一

脰 ノトブヘナリ公羊傳絶其一

頤 ホウ骨ヲ云易經壯于一

元 人ノ體ノ上ニアルヲ云孟子勇士不忘喪其一

釋文頤和實卷三

輓 ツラガマチナリ字典輔骨曰ト

○クツ

便 腹内ヨリ通スルヲ云韻府北齊安德王延樓上大使
人張_レ口承_レ之_ヲ

矢 汙穢ノ物ナリ尿ヲ正字トス莊子道在_レ溺

冀 不淨ヲノゾクヲ云反_クヲサシテ云正字通_レ穢也

○クチワキ

呬 ロト耳ノ間ナリ禮記負劍辟_レ詔之則掩_レ口而對

吻 ロワキノ上下一面ヲ云周禮銳喙決_レ

○クルマ_レハコブ道具ナリ古史考黃帝作_レ引重致遠

軒 兩旁ヲ圍タルナリ左傳衛懿公好鶴鶴有乘_レ者

路 大道ヲ行晴ノ車ナリ玉篇_レ犬車也

車 重荷ヲハコブ道具ナリ古史考黃帝作_レ引重致遠

輶 遠方ヘユクニ用ユ詩經_レ車鸞鑣

輻 喪禮ノクルマナリ說文_レ喪車

輜 ヲツトシタル車ナリ漢書輿_レ踰嶺注_レ今竹輿

輿 車ノモノヲノセル臺ナリ左傳禮故_レ之_レ也

輶 四方ヲカコヒタル手カロキ車ナリ例女傳后妃踰闕

必乘安車輶_レ

軻 車ニ接スル軸ヲ云說文_レ車接軸也

輶 物見ノ小車ヲ云漢書徵_レ天下通知逸經古記者駕_レ一封

一車詣京師

輶 車ノ後ニ横タル木周禮加_レ輿鞅焉注_レ輿也

輶 車ノオホヒナリ韻會_レ車耳反出所以為藩屏

○クツ

鳥 二重ノクツナリ詩經公孫碩膚赤一几几

履 單ノクツナリ史記有一老父至良所直隨其一地下

靴 カザリノアルナリ韻府唐韋賦每朝不敢離立嘗大雪

幾至没一

鞮 カサリノナキナリ禮記一履注無絢之菲

屨 粗末ナルクツナリ左傳喪一誅一于徒人費

屨 中ニ物ヲ入タルナリ韻府吳王宮中有響一廊以楸梓

板籍地

鞮 シツカリト取リツケタルヲ云玉篇一革底麻泉

屨躡同 足ノハコビノヨキヲ云漢書去妻子如脱一

鞞 深ク足ヲ包小兒ノクツナリ釋名一韋履深頭者之名

也

屨 ハラクツナリ史記虞卿躡一擔傘一見趙王拜為上卿

○クツハ

鑣 ロヲ自由ニサセヌヲ云文選飾鹿安用金一

銜 馬ニクハセテツカフヲ云楚詞無轡一而自載

○クツハツラ

轡 手ヅナナリ詩經六一在手

勒 タノミニナル心持ナリ釋名一絡也絡其頭而引之也

鞞 手ニモツ處ヲ云爾雅注轡一革也

鞞 自由サセヌ心持ナリ玉篇一馬勒也

鞞 ロノ側ニアル處ヲ云楚詞余雖好修姱以一羈兮

鞞 細ク長クタルヲ云詩經一革冲冲

○クラ

鞍 乘リテオチツク處ヲ云韻府劉備身不離體裏内消韉同 下クラナリ世說補李密蒲乘牛讀漢書

○クシ

櫛 細ニ齒ノアルヲ云詩經其比如櫛 髮ヲホキ通スナリ文選頭蓬暇梳

栳 カノ部ニ見ユ

○ク井

楸 中心ニ立タルヲ云爾雅注一也盖直一段之木楸 用心ニ立タルヲ云韓詩斬技楸與楸

杙 獸ヲツナクヲ云左傳臧堅以杙扶其傷而死

杙 木ノ立カレタルヲ云正字通一木無枝也

楸 杙ト同字ナリ爾雅一謂之杙注櫟也

株 切カフノヲナリ韓非子宋人田中有株免走觸株折頸死

死

擣 折コミタルヲ云說文一斷木也

櫟 椽ノ本字ナリ字典掲一有所表識也

椽 クイヲウツナリ詩經一之丁丁

○クロ

椽 ツホ金ノ如ク回ルモノヲ云說文一門樞也

樞 ヒチ金ノ如ク心木ナリ莊子原憲蓬戸不完桑以為樞

譯文須知卷之三終

言文須知實卷三

三十一

[Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page]

譯文須知卷之四

實字部

愚山松本先生解詁

門人 近江 鷓飼良輔校訂

ヤ類

○ヤマ

山 地形ヨリ別ニ高ク秀タルナリ易經一澤定位ヲ

岫 山ノ洞穴ナリ文選窓中列遠一

嶂 別ニ限タツテ見ユルナリ同上峻増起清一ヲ

嶽 岳同山神二位ノアル山ヲ云詩經嵩高維一

嶽 遠方ヨリ見ヘワタルヲ云文選坂坻巖崿而成一ヲ

○ヤシロ

廟 前ニ拜殿アルヲ云爾雅室有東西廂曰一

[Small vertical text on the left edge of the page]

祠 神ヲイツキマツルナリ韻府王績所居有盤石立社康

一祭之

社 所ノ氏神ナリ禮記諸侯為百姓立一曰國一

○ヤツコ

奴佞同 罪アリテ奉公スルナリ周禮凡有爵者與七十者未亂

者皆不為人

孥 妻子ヲ云詩經樂爾妻一

臧 宿ヲモチタル男奉公人ナリ歐文一獲懷憂因之而得

罪

獲 宿ヲモチタル女奉公人ナリ見上

婢 女ノ奉公人ナリ宋書耕當問孥織當問一

僮 男ノ奉公人ナリ史記卓王孫家一八百人

僕 人ニ附シタカフヲ云左傳秦伯送衛于晉實紀綱之一

隸 下役ノ一ナリ國語其猶隸農也注隸今之徒也

○ヤモノ

鰥 男ノヤモノナリ書經有一在下曰虞舜

嫗 其義未考字典一嫗婦也

正字通ニハ俗トシ說文ヲ引テ婦人妊身トス詳ニ辨

ス參攷スヘシ

寡 ツレノナキ一ニ故ニ男女通用ス正字通無夫無婦並

謂之

孀 獨身ノ住居スルヲ云列子京城氏之一妻

嫠 夫ヲウシナヒタルヲ云蕪賦泣孤舟之一婦

○ヤナキ

蒲 水中ニツタツヲ云左傳董澤之其可既乎

杞 川ヤナキナリ詩經無折樹

揚 立ヤナキナリ詩經柳依々又隰有

柳 シタリヤナキナリ正字通引古詩南揚北有

○ヤ

矢 矢ノ形ヲサシテ云揚子方言箭自關而東謂之

箭 矢ノ通スルヲサシテ云周禮其利金錫竹

楛 木ヲ以テ作ルヤナリ書經惟箇籥

○ヤツ

鞬 ウツホナリ左傳左執鞭弭右屬橐

箛 身ニ佩タルヲ云周禮夏官仲秋獻矢注箛盛矢器也

箭 筒ヲサシテ云左傳注冰箭蓋

蘭 矢ヲタテ、オクヲ云漢書抱弩負

冰 彌ト同シ左傳公徒釋甲執而踞

○ヤノ子 ヤシリ

箚 ヤノ竹ナリ周禮胡之

箚 箚ノ正字

鏃 矢ノ根ナリ史記秦無矢遺之費

○ヤヘハ ヤキハ

刃 ハノツキタルヲ云莊子所解數千牛而刀若新發于

研

鏑 モロハナリ漢書越砥斂其一

焯 ヤキハナリ史記使工以藥之

銚 切ツサキナリ韓文何五百人之擾々不能脱夫子于劍

釋文類

類

○マキ

牧

野カヒラスルナリ汎ク用ユ書經萊夷作

駒

同

馬ヲカフ場所ナリ詩經在之野

駒ト厶トハモト別ナリ駒ハ馬ノ肥タルナリ厶ハマ
キナリ今混用スルハ非ナリ

○マト

窓

明リトリ煙出シナトヲ云釋名一聰也於内見外之聰

○マ

牖

中格子ナリ韻府在牆曰一在屋曰窗

櫺

レシシマトナリ文選伏一檻以俯聽

櫳

木ヲ組合セ間ノスキタルヲ云說文一房室之疏也注

小曰窓疏遠曰一

窓ハ紗ニテ張ルホトノモノ故紗窓ト云櫳ハ簾ヲカ
ケルホトノモノ故簾櫳ト云

○マチ

坊

一構シタルヲ云杜詩飯煮青泥一裏芥

街

通り筋ノ直ナルナリ白詩下視十二一緑槐間紅塵

巷

辻子小路ノマカリタルナリ禮記此委一之禮也

町

田地ノタテヨコナリ左傳注不得方正如井田別為小

項一也

井

縱横十文字ナリ韻府邑居為市野廬為一

衢

人ノヨリ集ル場所ナリ爾雅九達謂之荀子揚朱哭

一塗

詩文須知實卷四

○マス

斗 一升マスナリ 詩經 柎聊之實蕃衍盈

斗 斗マスナリ 史記 平一斛度量

量 マスメノ一ナリ 見上

○マリ

毬 毛ニテコシラヘタルヲ云 說文 一鞠丸也

鞠 革ニシタルマリナリ 國策 六博踰一

○マト

的 目アテニスルヲ云 詩經 發彼有一以祈爾爵

侯 的ヲハルワクナリ 同上 終日射一不出正

正 画タルマトナリ 見下

鵠

マトノ星ナリ 中庸 射有似乎君子失諸正一

○マサカリ

鉄 斧ト同シ一ナリ 列子 人有意一者意其隣之子

鉞 鉄ノ大ナルヲ云 書經 王左杖黃一

鑽 マサカリノアテナリ 廣韻 斧也

○マナシリ マフチ

眸 目ノ中ノ黒ホシナリ 見下

皆 目フチノカトナリ 史記 弓不虛發中必決一

睚 目ツキノスルトナルヲ云 說文 目際也

睫 マタ、キスルナリ 禮記 交一脛註 目一毛交也

瞼 目ノ上下ノヒツハリナリ 說文 目上下一也

睚 目ノクルリナリ 列子 矢來注眸子而一不睫

釋文須知實卷四

五

○マノ

菽 豆ノハヘタルヲ云詩經烹葵及

豆 豆粒ノナリ史記坐須賈堂下置筮其前

豉 金山寺ミツノ類ナリ世說千里蓴美未下鹽

藿 マノノ葉ナリ詩經皎々白駒食我場

蕒 マノカラヲ云古文前集煮豆然豆

○マクラ

枕 頭ヲモタセヲクヲ云論語曲肱之

警 目ノサノル様ニシタル丸キ枕ナリ見下

穎 上二同類篇警枕也

○マロフト

賓 正客ノナリ詩經為卜為客獻酬交錯

客 外ヨリ來ルモノヲ云易經有不速之三人來

ケ類

フ類

コ類

○コホリ

氷 水ノカタマリタルナリ詩經鑿氷冲

凍 イテツキタルヲ云禮記東風解

凌 氷ノシツカリトシタルヲ云詩經納于陰

澌 氷ノトケカ、リタルナリ風俗通水流曰

涸 コ、リツキタルナリ文選陰沍寒

凝 コホリノカタマリタルナリ字彙氷堅也

○コ

子、父母ノ生スルヲ云論語父父一一一

兒、年ハユカサルヲ云老子嬰一終日號テ而嗌不嗔レ

○コノカミ

兄、先ニ生タルモノヲ云尔雅男子先生曰一一

伯、頭ヲチタルナリ詩經一也執父為王前驅レ

昆、父ノアトヲツクモノナリ同上謂レ他人一一

哥、親ニ押レテ云詞ナリ韻府俗呼兄為一一

景、昆ト同字ナリ

○コ、ロ

心、中ニ在テ衆官ヲツカフモノナリ世說會一處不必在

遠二

情、外物ニフレテ心ノ動クヲ云禮記聖人之治七一以禮

裏、上ムキニ非ル心持ナリ詩經不屬于毛不離于一一

意、心モチナリ易經其衰世之一邪

性、生レツキナリ中庸天命之謂一一

○コフ

癭、肉ノヒツツキ居ルヲ云杜詩長歌敲柳一一

瘤、肉ノコリカタマリタルナリ韻府侯景左足上肉一如

龜

贅、有テ無用ナル肉ナリ老子其于道也若餘食一行

○コロモ

衣、身ヲオホフモノナリ易經黃帝堯舜垂衣裳而天下治

服、着用ノ品ヲ云詩經不稱其一一

袍、綿ヲ入タル服詩經豈曰無衣與子同一一

衿 薄衣ナリ 論語當暑一絺一綌

袞 三公ノ衣服ナリ 詩經一衣繡裳

袿 上ニソツト打カケタルナリ 釋名婦人上服曰一

衫 單ノ丈長キ衣服ナリ 白詩江州司馬青一濕

衲 上下氏ニ同キ色目ヲ云 左傳一服振振

袂 ハレノ衣服ナリ 史記一服叢臺之下

表 ウヘニキル衣ナリ 論語必一而出之一

襖 死者ニ贈ル衣ナリ 左傳秦人來歸僖公成風之一

褐 毛織ノ布ニテ作レル衣ナリ 老子衣一懷玉一

褻 常服ナリ 論語一裘長一

褶 合セ衣ナリ 禮記君一衣一衾一

禪 比トヘ衣ナリ 禮記一為綱一

○コト

標 見ツケノ所ヲサシテ云 文選踐一苔之滑一石一

苔 センタリ其上エカサナリ出來ルヲ云 古文一痕上階

緑

藪 班文ニナリタルヲ云 郡芳譜急欲苔一少助野趣一

○コト

圻 ナテマワスモノヲ云 韓文有一者王承福傳

鋺 ヘツタリトスリツケルモノナリ 說文一鐵圻也

圻 圻ト同字ナリ

○コト

琴 セスチノコト 詩經一瑟有御

筓 十三スチノコト 韻府李元忠載素一濁酒奉迎神武一

○コシ

輿 乗テ行モノヲ云左傳禮徳之

輦 〇人ニ昇セルナリ廣韵人步輓車也

輻 地ヲ步行セスシテ行モノナリ前漢輿一而諭嶺

○コシキ

甌 モノ、上ニ重子ヲクナリ韵會驚屬也獻無底曰

○コサノ

霽 シハラクノ間ノ雨ナリ唐詩牕臨鳳凰沼一一雨聲來

霽 シヨホフル雨ヲ云説文小雨也

霽 シメリノ行ワタルヲ云詩經益之以テ霽ヲ

霽 上ハカハフシメリナリ見上

霽 〇フリカヌル雨ナリ説文一小雨

工類

日晷、ホノマモハシヤリヤリ文墨同類並来之至

テ類

詩文須知實卷四

九

ア類

○アケ

曙 日ノ高ク外リタルナリ唐詩春眠不覺一處々聞啼鳥
日光ノホヘアラハレタルナリ文選惆悵垂涕求之至

暎 日影ムツクリトシタルナリ杜詩絕壁上朝一

旭 朝日ノ光リカ、ヤクヲ云詩經一日始且

早 日ノ出ントスルヲ云說文一晨也

朝 四ツトキマテヲ云詩經誰謂宋遠曾不崇一

晨 日輪ノ動テ上ラントスルナリ唐詩清一入古寺初日

照園林

且 日輪ノ地ヲハナレ切タル一詩經注親迎以昏納采請

期以

曦 朝日ノ光リカ、ヤクヲ云文選赫一以輝煌

○アメ

雨 水ノ上ヨリ滴ナリテ落ルナリ易經雲行一施品物

詩文須知實卷四

九

流形

霖 三日フリツ、キタルナリ左傳風雨三日以為一

霰 ハラクト走り行ク如キヲ云詩經相彼雨雪先集維一

雹 氷ノフルヲ云左傳聖人在上無一

○アフラ

脂 コリカタマル油ナリ詩經膚如凝一

膏 脂ヨリトケタル油ナリ同上羔裘如一

油 汁ノ如クシルキヲ云韓文焚膏一以繼晷

腴 油アリテ肥タルヲ云禮記進魚冬有注凡魚冬時肥

在腹

膾 腸ノ間ノ油ヲ云廣韻腸間脂也

膩 油ヲキリテコマカナル一阿房宮賦渭流漲一棄脂水

也

肪 タチキリタル如油ナリ字彙方一也

○アノ

糖 アメヲ煎シテ堅メタルヲ云韻府以一作後貌號貌一

錫 地黄煎ナリ韻府元日食膠牙一

飴 汁アメナリ詩經董荼如一

○アハ

梁 餅アハノ一ナリ韻府持一躍馬食肉懷金

禾 ハタケニ出來立タル所ヲ云詩經七月納一稼

粟 アハ粒ヲサシテ云赤壁賦渺滄海之一

稷 早ク出來ルアハナリ釋コレト同シ詩經黍一稻梁

○アシ

足 ○ 足ノ形ヲ云左傳鮑莊子之智不如葵之能衛一

脚 足ノハタラキヲ云漢書司馬喜臚一于宋

跣 アシノウラナリ蹠モ同字ナリ說文一足下

趾 アシノ指ナリ正字通一足指古作止後人加足

○アシ

蘆 ソノ年ニハハタルヲ云杜詩渚秀一筍綠

蒹 細長ク立ノヒタルヲ云詩經一葭蒼蒼

葭 中空ク皮薄シ色白ヲ云同上一莢揭揭

莢 モヘ出テ赤キ色ヲ帶タルヲ云詩經一毳衣如一

葦 年ヲヘテ格別ニ大ナリタルナリ禮記七月納材一

萑 秋ニナリテ丈夫ニナルヲ云詩疏義至秋堅成謂之一

苴 北ノ麻ナリ詩經九月叔一

麻 スヘテ麻ノ総名ヲ云同上東門之地可以漚一

泉 牡ノ麻ナリ書經岱畎絲一

サ類

○サカイ

域 ソレクニ一構シタルナリ莊子汎汎乎若四方之無窮

無所畛一

界 両方ノウチ合タルヲ云詩經無此疆爾一

疆 彼此ヲ限ルナリ禮記封其四一注封建諸侯立其封

境 ソノ地面ノ果ヲ云國語外臣之言不越一

○サト

里 人ノヨリ集リ居ル處ナリ論語一仁為美

郷 ソノ所ノ風俗ニナリタルヲ云韻府帝謂合德為溫柔

一嘗曰吾老是一足矣

○サケ

酒 ヲヨノツ子ノサケナリ書經朝夕祀茲一

醕 ウスキ酒ナリ坡詩得酒忘醕一

醇 コキ酒ナリ見上

醪 カスヲシホラヌヲ云ナリ說文汁滓酒也

醴 一夜酒ナリ詩經且以酌一

酎 新酒ノ濃ナルヲ云左傳見於嘗一與執燔焉

○サカナ

肴 下酒物ノ取合セタルヲ云赤壁賦一核既盡杯盤狼籍

核 精進サカナナリ見上

菽 サツトシタルサカナナリ歐文山肴野一

膜 魚肉ノサカナナリ世說庾郎食一有二十七種鮭ト通

○サカス

○サカスキ

盃 クホミノアルヲ云赤壁賦見上

盃 薄平タキ盃ナリ歐詩魚枕蕉一舉十分當覆一

鍾 チヨクノサカツキナリ晋書以琉璃一_一行酒

卮 トツキノアル盃ナリ史記一酒安足辭文選玉一無當

觶 ヲキ加減ニ入ル盃ナリ禮記尊者舉一卑者舉角

竿 足ノ両柱ノ交リタル盃ナリ詩經洗爵奠一

爵 鳥ノ形ノ如キ足アルサカツキナリ埤雅一升曰一亦

取其鳴節以戒荒淫

白 盃ノ名ニハ非ス一ハイ愛タルヲ云漢書引滿舉一注

舉觴告一不盡也退朝錄謂酒酣為白著

觴 スヘテサカツキノ實入ノ名ナリ家語其源可以濫

觥 角ニテ作りタル大盃ナリ詩經稱彼兕一萬壽無疆

觥 カト立タル盃ナリ論語一不_レ一_レ哉一_レ哉

圈 曲モノナトノ盃ナリ禮記母沒則杯一不能飲

キ類

○キシ

涯 水ノツクカキリヲ云書經其無津一

岸 水ヨリ高クトリ付ニクキ所ナリ詩經淇則有一同上

○キミ

○キミ

君 所ノ政ヲ主ル人ナリ論語一臣臣

公 上ニアツテ正ス一書經貳一弘化

卿 下ノ善事ヲ上ヘイル一韻府古者執政大臣曰正一

周後始有九一之號

后 天子ニツキタルモノヲ云易經一以施命

○キヌ

縑 縮ノ倍ノヨキヲ云韻府張九齡文章如輕一

縑 カノ部ニ出

絹 細キ糸ニテオリタルナリ博雅繁縷鮮支穀一也

絹 ス、シノキスナリ句府衣龍一之衣不盈一握

力部ニ出

縞 上ニ同シ

帛 上ニ同シ

○キレ

鷺 錦鷄鳥ナリ周禮王饗先公饗射則一冕

雉 ツ子ノ雉ナリ詩經有雉一鳴

翟 雉ノ羽ナリ書經羽畎夏一詩經右手執一

鷩 西方ニ出ルキシナリ爾雅西方雉曰一

翬 羽ノ色ノ格別美シキヲ云詩經如一斯飛

鷮 尾ノ長キキシナリ詩經依彼平林有集維一

○キリ

梧 青キリノ木ヲ云ナリ詩經一桐生矣于彼朝陽

桐 ツ子ノ桐ノ木ナリ書經嶧陽孤一

椅 木サ、ケト云木ナリ詩經一桐椅漆爰伐琴瑟

工類

○ユカ

棲 住居トコロナリ孟子二嫂使治朕一

牀 牀凡ノ一ナリ同上舜在一琴

箬 竹スノコナリ詩經綠竹如一

○ユミ

弓 曲リタル形ヲサシテ云爾雅一之有綠者謂之一注綠

者綴纏之即今宛轉也

弩 石ユミナリ史記萬一夾道而發

弧 コナタへ引ハル心持易經弦木為一

弤 カサリアル弓ナリ孟子琴朕一朕

○ユフクロ

鞬 脊負ニスル器ナリ史記平原負一失為公子先

鞞

取リオキ藏ルヲ云禮記帶以鞞

鞞

包ミマハシオクナリ詩經交一ニ弓

鞞

止ト同意ナリ同上抑一弓忌

鞞

弓矢氏ニ納ル袋ナリ禮記以虎皮將帥之士使為諸侯

名之曰建一

鞞

弓矢氏ニ並ヲク器ナリ左傳左執鞭弭右屬鞞

○ノ
鳥ノノナリ詩經尚求其一
獸ノノナリ字彙母畜飛曰雌雄走曰牡
嫁入シテ來ルモノヲ云詩經士如歸一迨冰未泮
鹿ノ牝ナリ禮記父子聚一
男子ニ非ルヲ云淮南子土地各以類生澤氣生一
夫アルモノヲ云爾雅子之妻為婦

ノ類

○ノ

雌

鳥ノノナリ詩經尚求其一

牝

獸ノノナリ字彙母畜飛曰雌雄走曰牡

妻

嫁入シテ來ルモノヲ云詩經士如歸一迨冰未泮

鹿

鹿ノ牝ナリ禮記父子聚一

女

男子ニ非ルヲ云淮南子土地各以類生澤氣生一

婦

夫アルモノヲ云爾雅子之妻為婦

○ノ

眼

眼ノ精神ヲサシテ云三體詩白一着他世上人

目

目ノ形體ヲサシテ云國語道路以一

睛

目ノ玉ナリ玉篇目珠子也

眸 マナシリナリ孟子存乎人者莫良於子

瞳 ヒトミナリ史記項羽重子

昏 スヘテヒロクノクラノ一ヲ云韓文無所能人乃宜以

廢

矇 ヒトミアツテ見サル明ノクラヲ云詩經一瞽奏公

瞽 樂人ノ目クラナリ書經一奏鼓

瞶 ヒトミナキトウ盲ナリ見上

瞎 目ノ閉テ心ニモノヲ辨ヘサルヲ云世說補盲人騎

馬夜半臨深池

○メシ

食 腹ニミツルヲ云禮記一居人之左

飯 メシニタキタルヲ云世說二子炊忘着草一落釜中

饗 本膳ノ一ナリ詩經有母之尸

殮 ヌツケノ一ナリ禮記君未覆手不敢

三類

○ミチ

峯 上ノ方急ニ尖リタルヲ云同上夏雲多奇

嶺 トウケヲ云古文前集冬一秀孤松

嶠 次第ニ高クノホルヲ云爾雅山銳而高曰

岑 奥深ク静ナル場所ナリ坡詩舊壑飛雲思故

○ミチ

道 人ノ開キ始メシ所ナリ易經立天之曰陰與陽

途 踏付テ通ル道ナリ史記日暮一遠倒行而逆施之

路 往來スル所ヲ云孟子是率天下而一也

釋文類加寶集

其

阡 墓所ノ道ナリ杜詩新一絳水遙

徑 往來ノ便ナルヲ云論語不由一

蹊 勝手ニヨリ道ツキタルヲ云漢書桃李不言下自成ス一

迹 獸ノ往來スル道ナリ字彙兔之足跡也

○ミツ

洫 サイ目ヲ分チタルヲ云正韵田間水道也

溝 十文字ニ流ル、ミツナリ禮記城郭一池以為固

渠 堀通シタル小川ナリ曲禮溝一必歩

畎 田間ノタニナリ書經濬一澮距川

○ミツキハ

汀 水ノ行アタル所ヲ云杜詩酒渴愛江清餘酣漱晚一

瀆 水ヨリ地形ノ高キヲ云詩經鋪敦淮一

干 水ヨリ高クノ溢レサル所ヲ云易經鴻漸于干

澗 水ノヘリヲ云詩經在河之一

沚 水ノ流レサル所ナリ詩經于以采芣于沼于一

湄 水ト艸原ノ間ヲ云爾雅水草交為一

シ類

○シロ

城 本城ノカマヘヲ云釋名一成也一成而不可毀也

堡 カキアケ城ナリ字典一障小城也

寨 要害ヲカマヘタルヲ云トノ部ニ出

砦 寨ト同字ナリ柴ニモ作レリ

○シカ

鹿 カノシ、ナリ詩經呦呦一鳴

麋 大ナルシカラ云禮記冬至一角解

麋 ノ口ト云ヘルシカナリ本草似鹿而無角雄者有牙

麋 麋ノ俗字ナリ

麋 オシカナリ爾雅鹿牡

麋 鹿ノ子ナリ國語獸長麋

獅 唐獅子ナリ韻府曹操經白狼山逢獅子

狻 唐獅子ノ類ナリ文選檻狻狻狻狻

狻 狻ノ子ナリ爾雅狻師子屬一走五百里

麋 メシカナリ詩經野有死麋

麋 拂子ニスル大ナル鹿ナリ說文大力一角

○シツク

涓 細クシテツ、キカヌル程ノ杜詩未有埃谷聖朝

滴 一シツクツ、落ルヲ云増韻涓水點又瀝下也

瀝 段々ツ、キテ落ルヲ云史記時賜餘

正類 見前

七類

○ヒツイ

庇 日ヲオホフ爾雅麻廕也

廊 回廊ナトノ如ク長キヲ云漢書賜金陳廡下

廡 サシカケナリ說文堂下周屋漢書注門屋也

廡 母屋ニツ、キタルヲ云史記呂后側耳於東聽

○ヒツシ

羊 ヨノツ子ノ羊ナリ詩經牛下來

羝 三歳ノ羊ナリ易經羊觸藩

羶 綿羊ナリ詩經由醉之言俾出童一

達 羊ノ産子ナリ詩經誕彌厥月先生如一

羔 羊ノ子ナリ同上 一羊之皮

ヒケ

鬚 下ヒケナリ莊子疾走料虎頭編虎一幾不免虎口

髭 上ヒケナリ蒙求周靈王生而有 謂之一王

髯 ホウヒケ漢書註在頤曰鬚在頰曰

○ヒタイ

定 題ト同シ通用ス詩經麟之一振々公姓

額 髮ノハハ際マテヲ云字典髮下眉上曰

題 見コミノ所ヲ云禮記南方曰蠻雕一交趾

額 ヒタイ一面ヲ云易經巽其於人為廣

○ヒトツ

一 初ヨリカハラサルヲ云論語集註主一不適

隻 カタシナリ後漢書得一鳥

壹 タ、一スシナリ中庸一戎衣而有天下

孤 外ニツフモノナキヲ云李詩一雲獨去閑

毛類
七類
ス類

譯文須知卷之四 終

譯文須知卷之四

三十一

明治四年正月 官許

京都三條通御幸町角

大谷仁兵衛

同 御幸町御池下町

藤井孫兵衛

同 三條通寺町東入町

福井源次郎

同 三條通寺町西入町

杉本甚助

同 堀川通二條下町

井上治兵衛

同 二條通塲町西入町

林芳兵衛

發行

書林



